
障害のある方々の暮らしと福祉についての意識調査
報 告 書

平成 19 年 3 月

市川市 福祉部 障害者支援課

目 次

I	調査の概要	1
II	手帳所持者調査の結果	2
1	対象者の属性	2
2	健康について	11
3	暮らしを取り巻く環境について	14
4	暮らしの場や家計について	22
5	介助について	25
6	外出について	29
7	サービス利用の現況と今後の展望について	31
8	日中活動について	34
9	余暇活動、地域活動について	46
10	これからの障害福祉について	49
III	手帳非所持者調査の結果	59
1	対象者の属性	59
2	健康・福祉に対する関心について	61
3	日常生活における障害者との関わりについて	64
4	余暇活動や障害者を支援する活動について	68
5	障害者福祉の情報について	77
6	これからの障害福祉について	79
IV	自由意見	86
	調査票	89

I 調査の概要

1 調査の目的

○市川市に居住する障害者の生活、教育、就労、社会参加活動等の実態や現状、あるいは国、県、市による障害者施策やサービスに対する具体的な意向を把握し、調査結果を新障害者施策長期計画策定の基礎資料とする。

2 調査の方法

- 対象：
- ・障害にかかる各種手帳を所持する市民（当事者）
 - ・手帳を所持しない市民
- 方法：郵送による配布・回収

3 調査期間

○平成 18 年 6 月下旬～7 月中旬

4 回収結果【調査対象者数、抽出方法、有効回答率】

障害の種別	身体障害	知的障害	精神障害	合計	手帳を所持しない市民
調査対象者	身体障害者手帳所持者	療育手帳所持者	精神障害者保健福祉手帳所持者		
対象者数	1,500	500	500	2,500	700
抽出方法	手帳所持者から無作為抽出				住民基本台帳から 16 歳以上を無作為抽出
有効回収数 (有効回答率)	1,025 (68.3%)	318 (63.6%)	265 (53.0%)	1,608 (64.3%)	313 (44.7%)

5 調査項目

手帳所持者	手帳非所持者
<ul style="list-style-type: none">・健康について・暮らしを取り巻く環境について・暮らしの場や家計について・介助について・外出について・サービス利用の現況と今後の展望について・日中活動について・余暇活動、地域活動について・これからの障害福祉について	<ul style="list-style-type: none">・健康・福祉に対する関心について・日常生活における障害者との関わりについて・余暇活動や障害者を支援する活動について・障害者福祉の情報について・これからの障害福祉について

Ⅱ 手帳所持者調査の結果

1 対象者の属性

(1) 調査票の回答者（記入者）

- 身体障害においては、63.8%が「本人」による記入である。
- 知的障害においては、68.9%が「本人の立場にたって、家族や介助者が記入」しており、本人による記入は9.7%と少数である。
- 精神障害においては、61.9%が「本人」による記入である。

問 1. 調査票の回答者 × 障害種類別

単位：％（5％未満非表示）

	本人	本人の意見を確かめながら、家族や介助者	本人の立場にたって、家族や介助者	無回答
全体(1608)	52.8	15.4	24.9	6.8
身体障害(1025)	63.8	15.7	13.0	7.5
知的障害(318)	9.7	15.1	68.9	6.3
精神障害(265)	61.9	14.7	18.5	

(注) 5%未満数値：精神障害(4.9)

(2) 性別

- 対象者の性別は、身体障害においては、男性がやや多く、精神障害では女性がやや多い。知的障害については、男性が6割以上と多くなっている。

問 2. ①性別 × 障害種類別

単位：％（5％未満非表示）

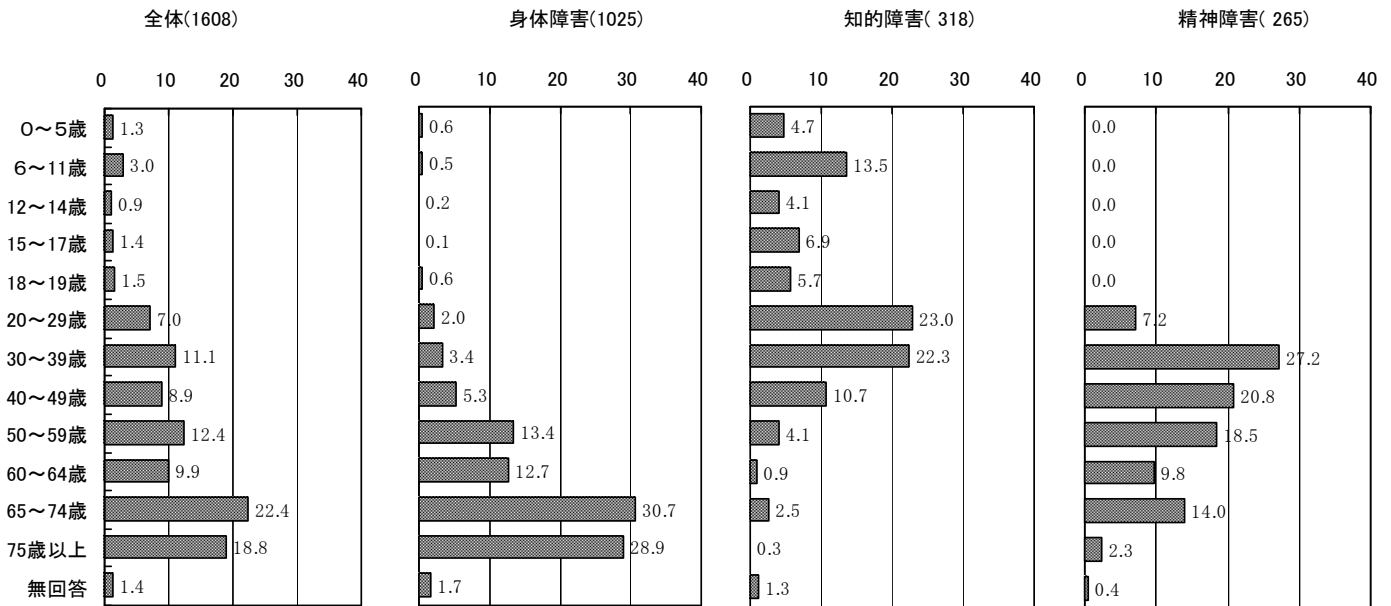
	男性	女性	無回答
全体(1608)	54.2	43.7	
身体障害(1025)	53.5	43.8	
知的障害(318)	61.9	36.8	
精神障害(265)	47.9	51.3	

(注) 5%未満数値：全体(2.1)身体障害(2.7)知的障害(1.3)精神障害(0.8)

(3) 年齢

- 対象者の年齢は、身体障害においては、65歳以上の高齢者の占める割合が合わせて59.6%と半数以上を占めている。
- 知的障害においては、20歳代(23.0%)、30歳代(22.3%)の比較的若い世代と、6～11歳の学齢期が13.5%と多くなっている。
- 精神障害においては、未成年は該当者なく、30歳代27.2%、40歳代20.8%、50歳代18.5%など青壮年層で多くなっている。

問2. ②年齢 × 障害種類別



(4) 住まいの地域

- 総じて中部圏域が40～50%台を占め、最も比率が大きい。これに、北部、南部の両圏域が続いている。
- 構成順は変わらないものの、知的障害については、中部圏域の比率がやや小さく、逆に精神障害で中部圏域の比率が大きく、市の中心部に居住する傾向が強くなっている。

問3. 住まいの地域 × 障害種類別

単位：% (5%未満非表示)

	北部	中部	南部	無回答
全体(1608)	26.6	49.4	21.8	
身体障害(1025)	26.5	50.0	21.1	
知的障害(318)	28.9	43.1	26.1	
精神障害(265)	24.2	54.7	19.6	

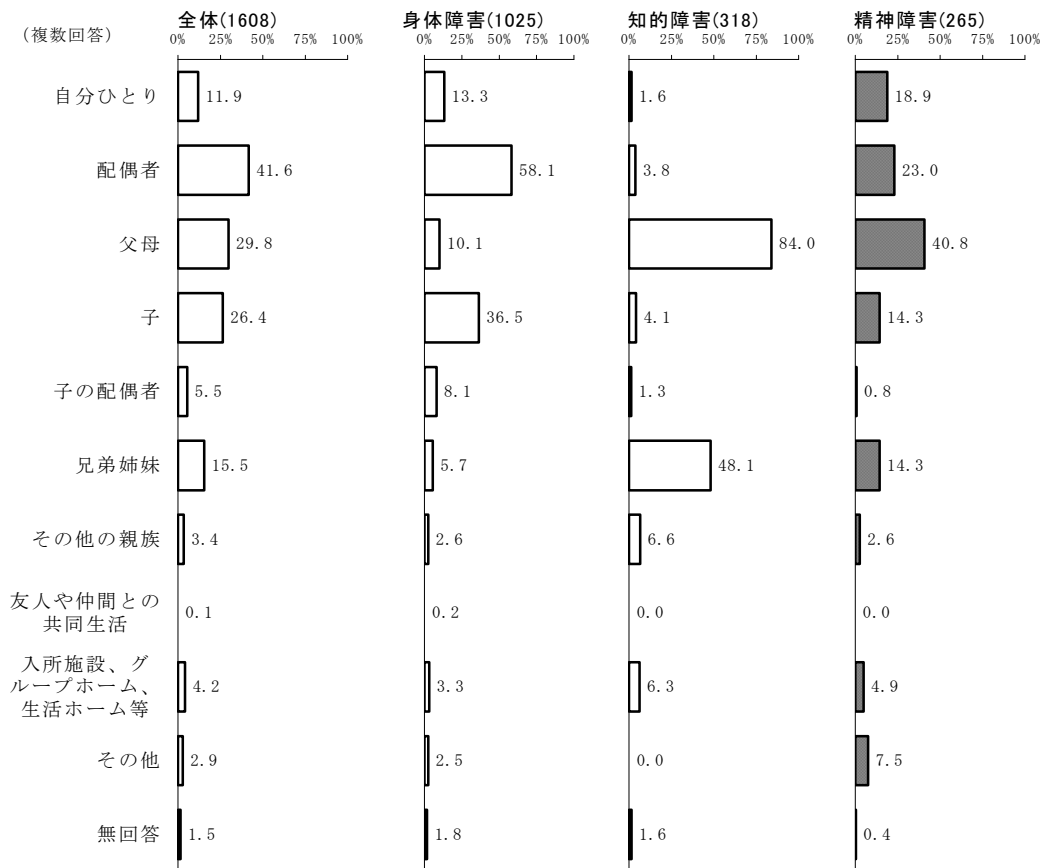
(注) 5%未満数値：全体(2.2)身体障害(2.4)知的障害(1.9)精神障害(1.5)

※地域区分については p92 を参照

(5) 同居している方

- 住まいに同居している方については、総じて「父母」「配偶者」「兄弟姉妹」が多く、核家族化している様子がうかがえる。また、「自分ひとり」も1割を超えている。
- 身体障害については、「配偶者」「子」が多く、既婚者が多いことがわかる。
- 知的障害については、「父母」「兄弟姉妹」が多く、当事者が未成年の若い世帯が多いことがわかる。
- 精神障害については、他の障害に比べて「自分ひとり」が多く、入院等で家族から離れて暮らしている人が多いことが推測される。

問 4. 同居している方 × 障害種類別



(6) 本人以外の同居家族で介助が必要な高齢者・障害者・病人等

- 本人以外に介助が必要な高齢者等がいるかどうかについては、全体で16.5%の世帯で要介助の人がいるという状況がわかる。
- 要介助の人がいる世帯は、精神障害の人の世帯で2割を超えている。

問 5. 本人以外の同居家族で介助が必要な高齢者・障害者・病人等 × 障害種類別

単位：% (5%未満非表示)

	いる	いない	無回答
全体(1608)	16.5	76.4	7.0
身体障害(1025)	15.3	77.6	7.1
知的障害(318)	17.3	78.9	
精神障害(265)	20.4	69.1	10.6

(注) 5%未満数値：知的障害(3.8)

(7) 要介護認定

- 40歳以上の人で介護保険の要介護認定を受けている人は、障害全体では3割弱となっている。
- 障害別では、高齢の人が多い身体障害で認定を受けている人が多く、3割を超えており、他の障害に比べて要介護度が大きい人が多い。

問 6. 要介護認定 × 障害種類別

単位：% (5%未満非表示)

	受けていない	受けたが「自立」と認定	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体(1164)		66.2				6.3	5.6		6.1
身体障害(932)		63.6				7.5	6.5	5.0	5.0
知的障害(59)		72.9							18.6
精神障害(173)		77.5							7.5

(注) 5%未満数値：全体(0.6 3.5 3.4 3.7 4.7)身体障害(0.6 3.6 3.8 4.2)知的障害(- 3.4 - - 3.4 - 1.7)精神障害(0.6 2.9 1.7 2.3 1.2 2.3 4.0)

(8) 持っている手帳

① 身体障害者手帳

- 身体障害者手帳については、全体では7割弱の人が所持していると回答している。
- 身体障害として調査させていただいた人の中では、「1級」が最も多く、35.7%を占める。
- 知的障害、精神障害として調査させていただいた人で、身体障害者手帳を所持している人もそれぞれ4人に1人程度の割合でいる。
- 年齢別では高齢者に手帳所持者が多く、さらに重度の人が多いことがわかる。

問 7. 持っている手帳(1)身体障害者手帳 × 障害種類別

単位:% (5%未満非表示)

	持っていない	1級	2級	3級	4級	5級	6級	程度不明	無回答
全体(1608)	12.4	26.3		12.7	11.0	13.0	5.1	16.5	
身体障害(1025)	35.7	15.2	14.5	19.7	7.8				
知的障害(318)	31.8	14.2					45.0		
精神障害(265)	37.0		12.5	8.3			36.2		

(注) 5%未満数値: 全体(2.5 0.5)身体障害(- 3.7 0.8 2.5)知的障害(4.7 1.9 1.3 0.3 0.9 -)精神障害(4.5 1.1 0.4 - -)

問 7. 持っている手帳(1)身体障害者手帳 × 年齢

	全体	持っていない	1級	2級	3級	4級	5級	6級	程度不明	無回答	
											(0)
全体 (0)	1608	199	423	204	177	209	82	41	8	265	
	100.0	12.4	26.3	12.7	11.0	13.0	5.1	2.5	0.5	16.5	
年齢	0~5歳 (1)	21	8	6	-	1	-	-	1	-	5
		100.0	38.1	28.6	-	4.8	-	-	4.8	-	23.8
	6~11歳 (2)	48	19	6	1	3	1	1	-	-	17
		100.0	39.6	12.5	2.1	6.3	2.1	2.1	-	-	35.4
	12~14歳 (3)	15	5	1	2	1	-	-	-	-	6
		100.0	33.3	6.7	13.3	6.7	-	-	-	-	40.0
	15~17歳 (4)	23	14	4	-	-	-	-	-	-	5
		100.0	60.9	17.4	-	-	-	-	-	-	21.7
	18~19歳 (5)	24	4	4	5	-	-	1	-	-	10
		100.0	16.7	16.7	20.8	-	-	4.2	-	-	41.7
	20~29歳 (6)	113	35	19	13	3	2	-	-	1	40
		100.0	31.0	16.8	11.5	2.7	1.8	-	-	0.9	35.4
	30~39歳 (7)	178	35	22	24	6	4	3	1	1	77
	100.0	19.7	12.4	13.5	3.4	3.4	2.2	1.7	0.6	43.3	
40~49歳 (8)	143	25	24	21	14	9	7	4	-	39	
	100.0	17.5	16.8	14.7	9.8	6.3	4.9	2.8	-	27.3	
50~59歳 (9)	199	22	51	26	26	30	17	6	1	20	
	100.0	11.1	25.6	13.1	13.1	15.1	8.5	3.0	0.5	10.1	
60~64歳 (10)	159	10	55	18	20	27	9	7	1	12	
	100.0	6.3	34.6	11.3	12.6	17.0	5.7	4.4	0.6	7.5	
65~74歳 (11)	360	16	117	43	61	76	18	10	2	17	
	100.0	4.4	32.5	11.9	16.9	21.1	5.0	2.8	0.6	4.7	
75歳以上 (12)	303	4	112	46	39	55	23	9	2	13	
	100.0	1.3	37.0	15.2	12.9	18.2	7.6	3.0	0.7	4.3	
無回答 (13)	22	2	2	5	3	3	2	1	-	4	
	100.0	9.1	9.1	22.7	13.6	13.6	9.1	4.5	-	18.2	

(表中の数値の太文字は、全体平均と比べて非常に数値が大きいもの。また、斜体文字は全体平均と比べて非常に数値が小さいもの (以下同様))

② 療育手帳

○療育手帳については、全体では2割の人が所持していると回答している。

○知的障害として調査させていただいた人の中では、「A1」が最も多く27.0%を占める。「B1」も23.6%と少なくない。

○身体障害、精神障害として調査させていただいた人で、療育手帳を所持している人の比率はかなり少ない。

○年齢別では、0～5歳の層から20～29歳の層までの人が多い。

問 7. 持っている手帳(2)療育手帳 × 障害種類別

単位:% (5%未満非表示)

	持っていない	○A	A 1	A 2	B 1	B 2	程度不明	無回答
全体 (1608)			60.1			5.7	5.1	19.9
身体障害 (1025)			79.1					20.2
知的障害 (318)	17.3		27.0		19.8		23.6	
精神障害 (265)			58.5					37.4

(注) 5%未満数値: 全体(3.5 1.1 4.0 0.6)身体障害(0.1 0.5 0.1 - - -)知的障害(- 4.7 3.1 4.4)精神障害(0.4 0.4 0.4 0.4 2.6 -)

問 7. 持っている手帳(2)療育手帳 × 年齢別

	全体	持っていない	○A	A 1	A 2	B 1	B 2	程度不明	無回答
全体 (0)	1608	966	57	92	17	64	82	10	320
	100.0	60.1	3.5	5.7	1.1	4.0	5.1	0.6	19.9
年齢	0～5歳 (1)	21	6	-	6	-	7	2	-
		100.0	28.6	-	28.6	-	33.3	9.5	-
	6～11歳 (2)	48	5	7	16	-	10	9	1
		100.0	10.4	14.6	33.3	-	20.8	18.8	-
	12～14歳 (3)	15	1	2	5	-	1	4	2
		100.0	6.7	13.3	33.3	-	6.7	26.7	-
	15～17歳 (4)	23	1	5	7	-	1	9	-
		100.0	4.3	21.7	30.4	-	4.3	39.1	-
	18～19歳 (5)	24	5	6	2	-	5	4	2
		100.0	20.8	25.0	8.3	-	20.8	16.7	-
	20～29歳 (6)	113	27	22	19	5	12	15	2
		100.0	23.9	19.5	16.8	4.4	10.6	13.3	1.8
	30～39歳 (7)	178	63	8	19	6	13	23	1
	100.0	35.4	4.5	10.7	3.4	7.3	12.9	0.6	
40～49歳 (8)	143	80	1	6	2	9	12	4	
	100.0	55.9	0.7	4.2	1.4	6.3	8.4	2.8	
50～59歳 (9)	199	143	4	4	2	3	-	2	
	100.0	71.9	2.0	2.0	1.0	1.5	-	1.0	
60～64歳 (10)	159	127	-	3	-	-	2	-	
	100.0	79.9	-	1.9	-	-	1.3	-	
65～74歳 (11)	360	276	1	4	1	2	1	1	
	100.0	76.7	0.3	1.1	0.3	0.6	0.3	0.3	
75歳以上 (12)	303	220	-	-	-	-	1	-	
	100.0	72.6	-	-	-	-	0.3	-	
無回答 (13)	22	12	1	1	1	1	-	-	
	100.0	54.5	4.5	4.5	4.5	4.5	-	-	

③ 精神障害者保健福祉手帳

- 精神障害者保健福祉手帳については、全体では17%の人が所持していると回答している。
- 精神障害として調査させていただいた人の中では、「2級」が47.5%と最も多い。
- 身体障害、知的障害として調査させていただいた人の中で、精神障害者保健福祉手帳を所持している人はわずかである。
- 年齢別では、30～40歳代が比較的多い。

問7. 持っている手帳(3)精神障害者保健福祉手帳 × 障害種類別

単位：% (5%未満非表示)

	持っていない	1級	2級	3級	程度不明	無回答
全体(1608)		61.5			8.1	21.6
身体障害(1025)		81.1				18.1
知的障害(318)		49.7	47.5			
精神障害(265)	18.9	47.5			18.9	10.6

(注) 5%未満数値：全体(3.8 3.2 1.7)身体障害(0.6 0.1 0.1 -)知的障害(1.6 1.3 -)精神障害(- 4.2)

問7. 持っている手帳(3)精神障害者保健福祉手帳 × 年齢別

		全体	持っていない	1級	2級	3級	程度不明	無回答
		(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	全体 (0)	1608	989	61	131	51	28	348
		100.0	61.5	3.8	8.1	3.2	1.7	21.6
年齢	0～5歳 (1)	21	15	-	-	-	-	6
		100.0	71.4	-	-	-	-	28.6
	6～11歳 (2)	48	32	-	-	-	-	16
		100.0	66.7	-	-	-	-	33.3
	12～14歳 (3)	15	8	-	-	-	-	7
		100.0	53.3	-	-	-	-	46.7
	15～17歳 (4)	23	18	-	-	-	-	5
		100.0	78.3	-	-	-	-	21.7
	18～19歳 (5)	24	11	-	-	-	-	13
		100.0	45.8	-	-	-	-	54.2
	20～29歳 (6)	113	57	5	10	4	1	36
		100.0	50.4	4.4	8.8	3.5	0.9	31.9
	30～39歳 (7)	178	48	17	34	17	4	58
	100.0	27.0	9.6	19.1	9.6	2.2	32.6	
40～49歳 (8)	143	66	7	33	10	9	18	
	100.0	46.2	4.9	23.1	7.0	6.3	12.6	
50～59歳 (9)	199	122	9	24	8	7	29	
	100.0	61.3	4.5	12.1	4.0	3.5	14.6	
60～64歳 (10)	159	111	6	13	6	1	22	
	100.0	69.8	3.8	8.2	3.8	0.6	13.8	
65～74歳 (11)	360	266	10	16	5	6	57	
	100.0	73.9	2.8	4.4	1.4	1.7	15.8	
75歳以上 (12)	303	220	7	1	1	-	74	
	100.0	72.6	2.3	0.3	0.3	-	24.4	
無回答 (13)	22	15	-	-	-	-	7	
	100.0	68.2	-	-	-	-	31.8	

(9) 主たる障害

- 生活にもっとも影響のある障害の種類(主たる障害)については、肢体不自由が30%を占め、内部障害(18%)、知的障害(15%)、精神障害(15%)と続く。
- 身体障害、知的障害、精神障害の3区分別(障害種類別)にみると、知的障害においても、生活にもっとも影響のある障害(主たる障害)としては、肢体不自由や内部障害、音声・言語、そしゃく機能の障害など身体の障害を挙げる割合が11%となっている。精神障害においては、主たる障害として身体の障害を挙げる割合は5%である。

問 8. ①生活にもっとも影響のある障害(主たる障害) × 障害種類別

単位:% (5%未満非表示)

	視覚障害	聴覚障害・平衡機能の障害	音声・言語、そしゃく機能の障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	その他	無回答
全体(1608)	5.1	5.0	30.0	17.9	15.3	14.9			7.6
身体障害(1025)	7.7	7.5	44.2		27.4				7.8
知的障害(318)	6.6		74.5						8.2
精神障害(265)			83.0						6.4

(注) 5%未満数値: 全体(1.9 2.4)身体障害(2.2 0.2 0.7 2.2)知的障害(0.6 0.6 1.6 1.9 3.8 2.2)精神障害(0.4 0.4 0.8 3.0 0.4 2.6 3.0)

- 年齢別にみると、主たる障害として知的障害を挙げる割合は子どもや若年層に多く、肢体不自由は高齢層に多いことがわかる。

問 8. ①生活にもっとも影響のある障害(主たる障害) × 年齢別

	全体	視覚障害	聴覚障害・平衡機能の障害	音声・言語、そしゃく機能の障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	その他	無回答	
	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
全体 (0)	1608 100.0	82 5.1	80 5.0	30 1.9	482 30.0	288 17.9	246 15.3	239 14.9	38 2.4	123 7.6	
年齢	0~5歳 (1)	21 100.0	-	1 4.8	-	4 19.0	-	14 66.7	-	2 9.5	
	6~11歳 (2)	48 100.0	-	1 2.1	1 2.1	8 16.7	1 2.1	33 68.8	-	1 6.3	
	12~14歳 (3)	15 100.0	-	1 6.7	-	1 6.7	1 6.7	11 73.3	-	1 6.7	
	15~17歳 (4)	23 100.0	-	-	-	2 8.7	-	20 87.0	-	-	
	18~19歳 (5)	24 100.0	-	3 12.5	1 4.2	6 25.0	-	13 54.2	-	-	
	20~29歳 (6)	113 100.0	-	8 7.1	-	11 9.7	5 4.4	57 50.4	22 19.5	2 1.8	8 7.1
	30~39歳 (7)	178 100.0	7 3.9	6 3.4	4 2.2	19 10.7	6 3.4	52 29.2	62 34.8	6 3.4	16 9.0
	40~49歳 (8)	143 100.0	3 2.1	8 5.6	-	29 20.3	15 10.5	24 16.8	52 36.4	-	12 8.4
	50~59歳 (9)	199 100.0	13 6.5	7 3.5	5 2.5	71 35.7	37 18.6	8 4.0	41 20.6	8 4.0	9 4.5
	60~64歳 (10)	159 100.0	10 6.3	10 6.3	5 3.1	55 34.6	41 25.8	2 1.3	23 14.5	3 1.9	10 6.3
	65~74歳 (11)	360 100.0	22 6.1	13 3.6	7 1.9	142 39.4	103 28.6	6 1.7	31 8.6	13 3.6	23 6.4
	75歳以上 (12)	303 100.0	27 8.9	22 7.3	7 2.3	126 41.6	75 24.8	2 0.7	7 2.3	4 1.3	33 10.9
	無回答 (13)	22 100.0	-	-	-	8 36.4	4 18.2	4 18.2	1 4.5	-	5 22.7

(10) 障害が生じた年齢

- 障害の生じた年齢については、身体障害では「65～74歳」「50～59歳」など、概ね40歳以上が多い。
- 知的障害については、「0歳」「1～9歳」といった誕生当初からの障害発生がほとんどを占める。
- 精神障害については、「20～29歳」「10～19歳」といった若い頃に発症することが多くなっている。

問 8. (2)障害が生じた年齢 × 障害種類別

単位：%（5%未満非表示）

	0歳	1～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上	わからない	無回答
全体(1608)	13.4		12.6	7.0	8.1	5.7	8.8	11.4	8.1	10.8	5.6	6.6
身体障害(1025)	6.9	5.4		5.9	11.7	16.5		12.0	16.6		8.7	6.8
知的障害(318)	44.3						43.4					5.7
精神障害(265)		21.9		32.1				11.7	7.9	5.3	5.7	6.8

(注) 5%未満数値：全体(1.9)身体障害(4.3 4.4 0.9)知的障害(3.1 0.3 0.3 - 0.3 0.3 0.3 - 1.9)精神障害(1.1 3.8 2.3 1.1 0.4)

- 主たる障害別にみると、特に10歳未満で知的障害、聴覚障害・平衡機能の障害、10代～20代で精神障害、40～50代で音声・言語、そしゃく機能の障害、50代以上で内部障害が多いことがわかる。

問 8. (2)障害が生じた年齢 × 主たる障害別

	全体	0歳(含む)～出生前を含む									
		0歳(含む)	1～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
全体 (0)	1608	215	203	112	131	92	141	184	130	174	90
視覚障害 (1)	82	8	6	3	11	3	11	11	11	11	5
聴覚障害・平衡機能の障害 (2)	80	20	15	5	2	6	3	7	4	6	3
音声・言語、そしゃく機能の障害 (3)	30	2	2	-	1	-	6	6	3	5	1
肢体不自由 (4)	482	50	32	29	20	34	57	73	43	76	40
内部障害 (5)	288	7	4	3	12	15	32	61	55	59	23
知的障害 (6)	246	100	122	3	1	-	1	1	1	1	-
精神障害 (7)	239	3	10	58	78	27	18	10	3	2	1
その他 (8)	38	6	3	5	3	2	4	4	4	2	2
無回答 (9)	123	19	9	6	3	5	9	11	6	12	15
	100.0	13.4	12.6	7.0	8.1	5.7	8.8	11.4	8.1	10.8	5.6
視覚障害 (1)	100.0	9.8	7.3	3.7	13.4	3.7	13.4	13.4	13.4	13.4	6.1
聴覚障害・平衡機能の障害 (2)	100.0	25.0	18.8	6.3	2.5	7.5	3.8	8.8	5.0	7.5	3.8
音声・言語、そしゃく機能の障害 (3)	100.0	6.7	6.7	-	3.3	-	20.0	20.0	10.0	16.7	3.3
肢体不自由 (4)	100.0	10.4	6.6	6.0	4.1	7.1	11.8	15.1	8.9	15.8	8.3
内部障害 (5)	100.0	2.4	1.4	1.0	4.2	5.2	11.1	21.2	19.1	20.5	8.0
知的障害 (6)	100.0	40.7	49.6	1.2	0.4	-	0.4	0.4	0.4	0.4	-
精神障害 (7)	100.0	1.3	4.2	24.3	32.6	11.3	7.5	4.2	1.3	0.8	0.4
その他 (8)	100.0	15.8	7.9	13.2	7.9	5.3	10.5	10.5	10.5	5.3	5.3
無回答 (9)	100.0	15.4	7.3	4.9	2.4	4.1	7.3	8.9	4.9	9.8	12.2

2 健康について

(1) 健康状態

- この1か月程度の健康状態については、全体では「よい」「どちらかというといよい」とする人は67%で、32%は不調を感じている。
- 健康状態が思わしくない人は、精神障害、身体障害で比較的多くなっている。

問 9. 健康状態 × 障害種類別

単位:% (5%未満非表示)

	よい	どちらかというといよい	どちらかというとい悪い	悪い	無回答
全体(1608)	26.1	40.4		24.3	7.6
身体障害(1025)	20.4	43.2		27.0	7.6
知的障害(318)		53.5		32.7	10.1
精神障害(265)	15.5	38.9		30.9	13.2

(注) 5%未満数値: 全体(1.6)身体障害(1.8)知的障害(2.8 0.9)精神障害(1.5)

(2) 治療中か否かの状況

- 健診・検診以外に、治療のために医療機関に通院・入院しているか否かについては、「通院している」人が7割程度を占めるほか、「入院している」が6.3%などで、「病院にはかかっていない」人は2割弱にとどまる。
- 身体障害、精神障害では、「通院している」の割合が知的障害よりも高い。特に、精神障害では「通院している」が81%と3障害のなかで最も高く、また、「入院している」についても全体より10ポイント高い16%となっている。

問 10. 治療中か否かの状況 × 障害種類別

単位:% (5%未満非表示)

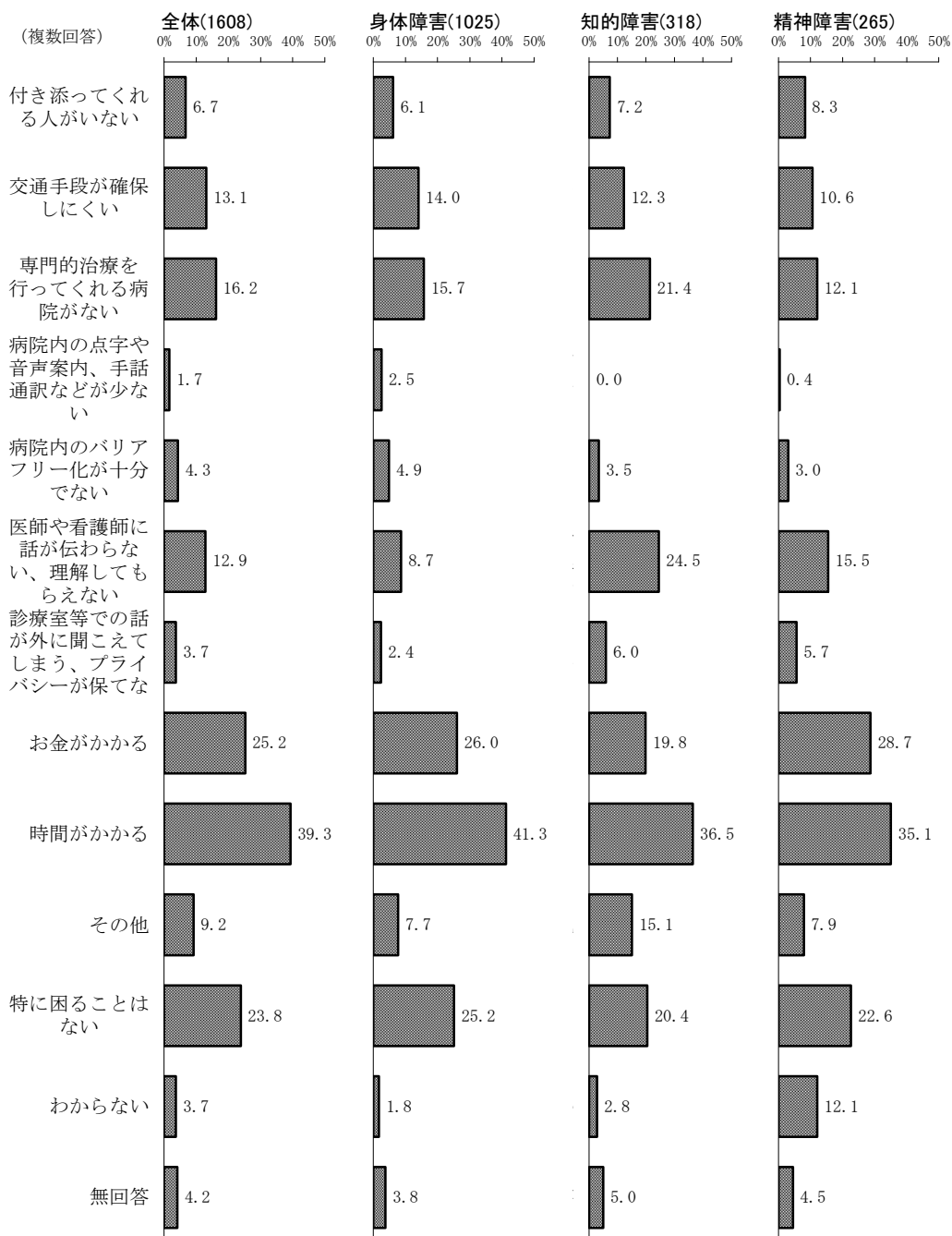
	入院している	往診してもらっている	通院している(薬剤のみの処方も含む)	病院にはかかっていない	無回答
全体(1608)	6.3		69.5		19.2
身体障害(1025)	5.2		72.7		15.7
知的障害(318)			49.4	45.0	
精神障害(265)	16.2		81.1		

(注) 5%未満数値: 全体(2.4 2.6)身体障害(3.5 2.9)知的障害(1.6 0.9 3.1)精神障害(- 1.9 0.8)

(3) 病院等を利用するとき不便を感じる事

- 病院等を利用する際に不便を感じる事については、総じて「時間がかかる」ことを指摘する声が多い。そのほか、「お金がかかる」、「専門的治療を行ってくれる病院がない」「交通手段が確保しにくい」という意見が比較的多い。一方で「特に困ることはない」という人も少なくない。
- 障害別では、知的障害では、「医師や看護師に話が伝わらない、理解してもらえない」「専門的治療を行ってくれる病院がない」が多いのが目立つ。
- 主たる障害別にみると、聴覚障害・平衡機能の障害や音声・言語、そしゃく機能の障害、知的障害では、「医師や看護師に話が伝わらない、理解してもらえない」というコミュニケーションの難しさが指摘されている。

問 11. 病院等を利用するとき不便を感じる事 × 障害種別



問 11. 病院等を利用するとき不便を感じる事 × 主たる障害別

	全体	付き添ってくれる人がいない	交通手段が確保しにくい	専門的治療が行えない	病院内の点字や音声案内、手話通訳などが少ない	病院内のバリアフリー化が十分でない	医師や看護師に話してもらえない	診察室等での話が外に聞こえてしまう、プライバシーが保てない	お金がかかる	時間がかかる	その他	特に困ることはない	わからない	無回答	
	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	
全体	1608 100.0	108 6.7	211 13.1	261 16.2	27 1.7	69 4.3	208 12.9	59 3.7	406 25.2	632 39.3	148 9.2	383 23.8	59 3.7	67 4.2	
主たる障害	視覚障害 (1)	82 100.0	9 11.0	12 14.6	15 18.3	8 9.8	6 7.3	3 3.7	18 22.0	36 43.9	11 13.4	16 19.5	1 1.2	1 1.2	
	聴覚障害・平衡機能の障害 (2)	80 100.0	2 2.5	7 8.8	10 12.5	15 18.8	1 1.3	22 27.5	9 11.3	25 31.3	8 10.0	20 25.0	2 2.5	3 3.8	
	音声・言語、そしゃく機能の障害 (3)	30 100.0	-	-	4 13.3	-	1 3.3	7 23.3	-	7 23.3	10 33.3	2 6.7	11 36.7	1 3.3	2 6.7
	肢体不自由 (4)	482 100.0	32 6.6	89 18.5	77 16.0	1 0.2	40 8.3	37 7.7	15 3.1	134 27.8	216 44.8	37 7.7	112 23.2	8 1.7	15 3.1
	内部障害 (5)	288 100.0	17 5.9	24 8.3	48 16.7	-	4 1.4	13 4.5	4 1.4	74 25.7	126 43.8	13 4.5	85 29.5	5 1.7	7 2.4
	知的障害 (6)	246 100.0	16 6.5	30 12.2	56 22.8	-	6 2.4	65 26.4	15 6.1	46 18.7	80 32.5	36 14.6	55 22.4	10 4.1	11 4.5
	精神障害 (7)	239 100.0	22 9.2	25 10.5	28 11.7	1 0.4	6 2.5	34 14.2	15 6.3	69 28.9	82 34.3	16 6.7	54 22.6	27 11.3	12 5.0
	その他 (8)	38 100.0	-	3 7.9	6 15.8	-	-	5 13.2	1 2.6	10 26.3	14 36.8	9 23.7	8 21.1	-	2 5.3
	無回答 (9)	123 100.0	10 8.1	21 17.1	17 13.8	2 1.6	5 4.1	22 17.9	4 3.3	39 31.7	43 35.0	16 13.0	22 17.9	5 4.1	14 11.4

3 暮らしを取り巻く環境について

(1) 生活環境等の重要度・満足度

① 重要度

- 暮らしを取り巻く環境について、20項目にわたり、その重要性を5段階で評価いただいたところ、全体では、「費用の心配をせずに必要な医療を受けられる」「安心して暮らせる住まいがある」「暮らしに困らないだけの収入がある」の3項目を重視する意識が強い。
- 主な障害の種類別には、上記3項目のほか、視覚障害で、「外に出かけても事故やけがの心配がない」「災害の情報や発生したときに避難できる」を重視する傾向があるほか、肢体不自由で、「自分にあったりハビリテーションの機会が身近にある」「災害の情報や発生したときに避難できる」、知的障害で「サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない」「様々な職場があり選べる」「学校や職場で無視等されない」「相談できるところが身近にある」「だまされたり泥棒にあたりしない」「災害の情報や発生したときに避難できる」、精神障害で「相談できるところが身近にある」を重視する声が強い。
- 地域別には、上記3項目のほか、北部地域で「災害の情報や発生したときに避難できる」「サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない」が重視されている。
- 年齢別には、子どもから若年層にかけて、様々な生活環境を重視する傾向が強く、きめ細かな生活環境整備が必要とされている。

② 満足度

- 同様の項目についての実際の満足度については、マイナスの平均点が11項目となっており、職場、収入（経済）、リハビリテーションの機会での評価が特に厳しい。
- 年齢別では、18歳未満の子どもについて、外出時や災害からの安全性、職場の選択肢、差別にかかわらない評価、技術や知識習得の場、リハビリテーションの機会などについて、厳しい評価となっている。

③ 重要度と満足度の差

- 重要度に対して満足度が低いものほど、対応策のニーズが高いと考えられることから、両者の平均点の差を見てみると、「暮らしに困らないだけの収入がある」「費用の心配をせずに必要な医療を受けられる」「災害の情報や発生したときに避難できる」「自分にあたりハビリテーションの機会が身近にある」「サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない」など、重要度の高い項目で、満足度との差がとくに大きくなっている。
- 「暮らしに困らないだけの収入がある」「費用の心配をせずに必要な医療を受けられる」「災害の情報や発生したときに避難できる」は、主な障害の種類や年齢などの属性を問わず、おしなべて差が大きい。
- 「仕事や趣味、仲間と過ごす時間がある」は、知的障害で重要度と満足度の差が大きくなっている。また、知的障害者、精神障害者では、「様々な職場が選べる」「障害のある人もない人も同じように評価される」「必要な技術や知識を学ぶ場がある」など、職場に関する項目の差も大きい傾向がある。
- 「必要な情報を得やすい」については、視覚障害者、聴覚・平衡機能障害で、重要度と満足度の差が大きくなっている。
- 年齢別では、全体的に17歳までの年齢層で、重要度と満足度の差が大きい傾向が見られる。

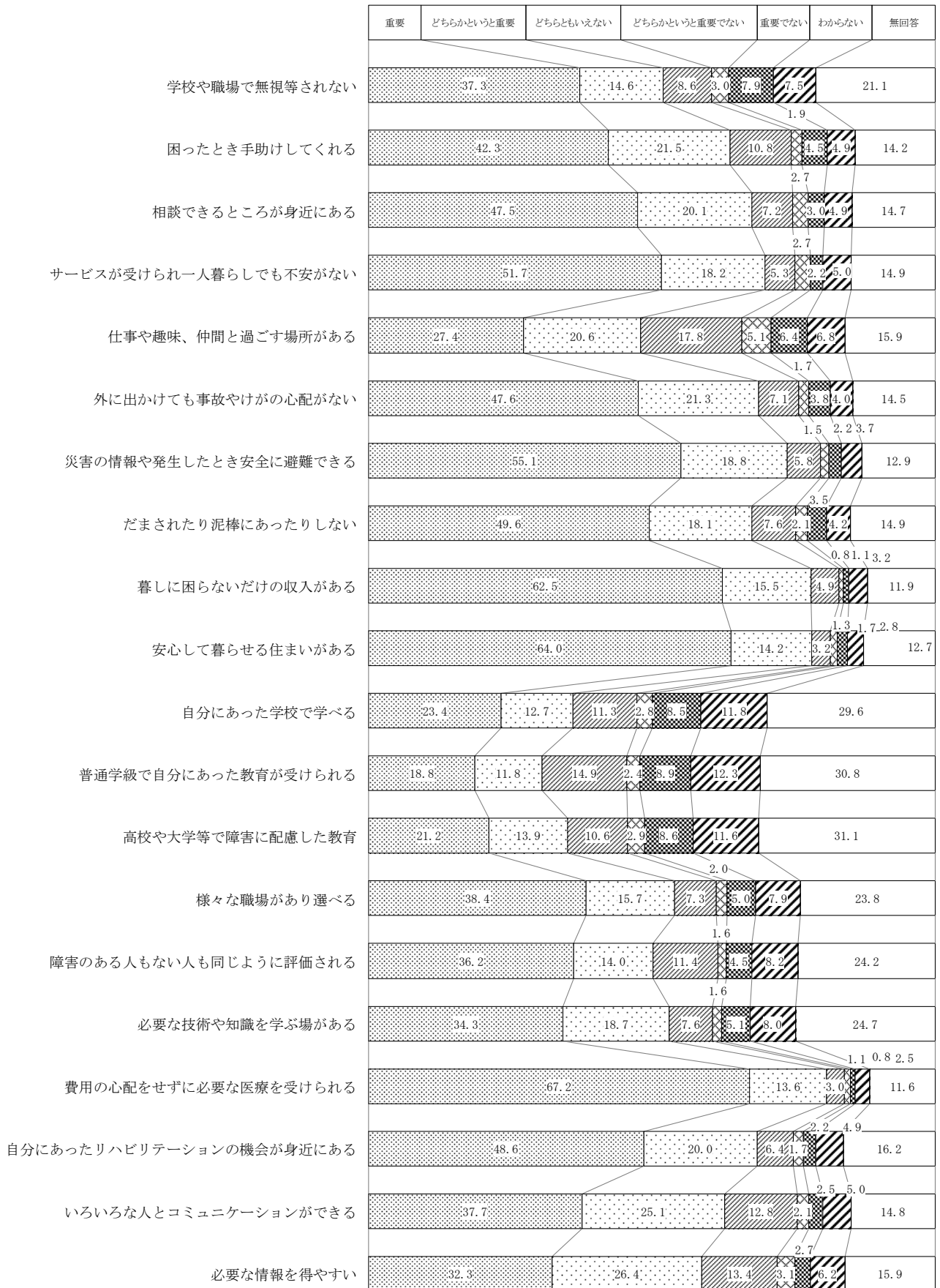
注) 平均点とは、重要（満足）を2点、どちらかという重要（満足）を1点、どちらかともいえないを0点、どちらかという重要でない（不満）を-1点、重要でない（不満）を-2点として各選択肢の回答者数を乗じて求めた得点の合計を、回答者合計数で割って算出した値である。

問 12. 生活環境等の重要度 × 全体

問12. 重要度 (全体)

総数=1608

単位:%



問 12. 生活環境等の重要度 × 障害種類別

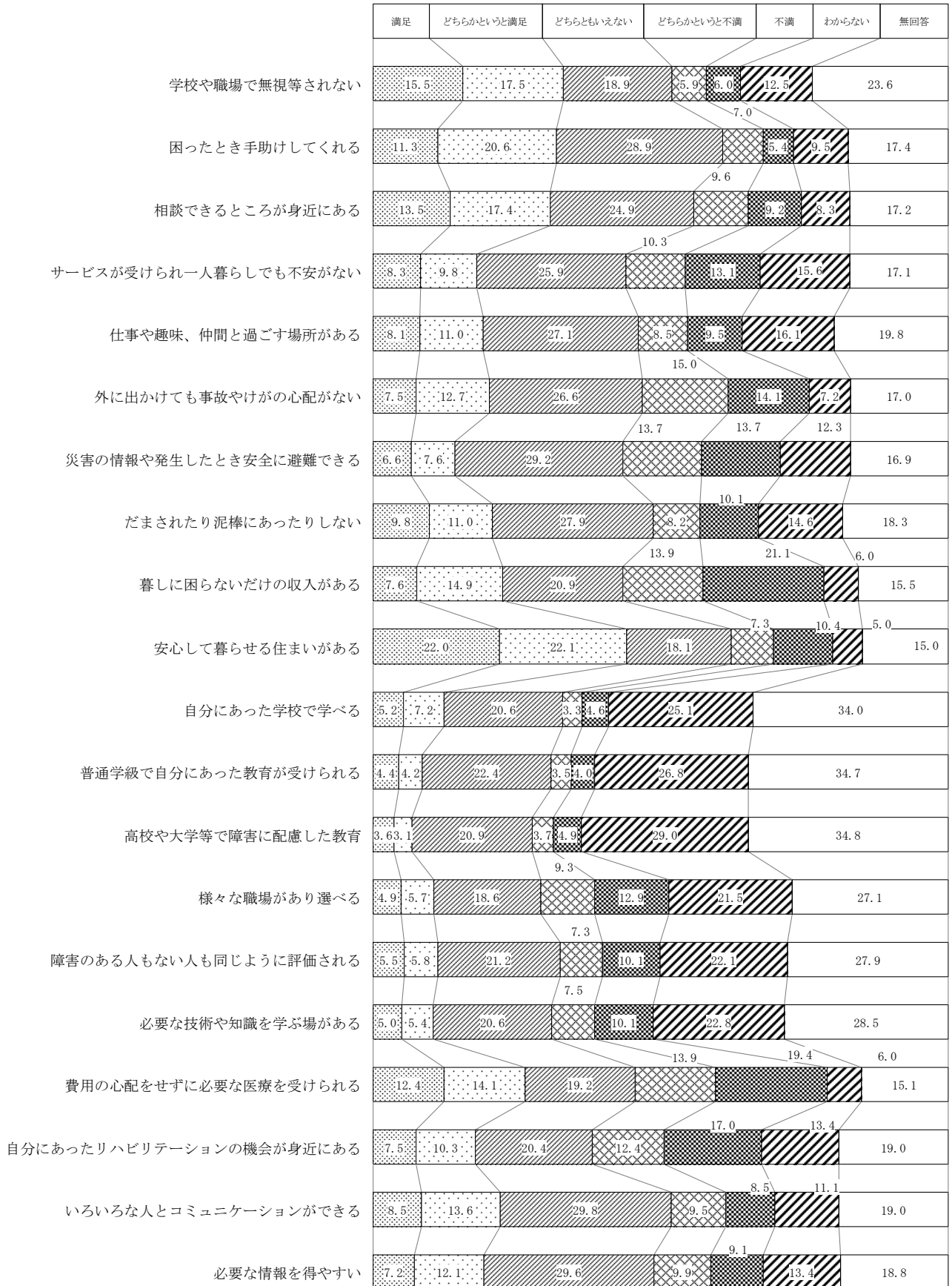
	全体	重要	どちらかという と重要	どちらとも いえない	どちらかという と重要でない	重要でない	わからない	無回答
(1)学校や職場で無視等されない	全 体	37.3	14.6	8.6	3.0	7.9	7.5	21.1
	身体障害	28.0	15.3	9.7	3.8	9.8	6.2	27.2
	知的障害	59.4	16.7	7.2	0.9	0.9	5.3	9.4
	精神障害	46.8	9.4	6.0	2.3	9.1	15.1	11.3
(2)困ったとき手助けしてくれる	全 体	42.3	21.5	10.8	1.9	4.5	4.9	14.2
	身体障害	39.2	22.3	11.0	2.0	5.1	3.4	16.9
	知的障害	53.1	22.6	9.4	0.9	1.6	3.8	8.5
	精神障害	41.1	16.6	11.3	2.6	6.0	11.7	10.6
(3)相談できるところが身近にある	全 体	47.5	20.1	7.2	2.7	3.0	4.9	14.7
	身体障害	40.5	21.2	8.5	3.4	4.1	4.3	18.0
	知的障害	57.9	20.8	7.2	0.3	0.9	3.8	9.1
	精神障害	62.3	15.5	1.9	2.6	1.1	8.3	8.3
(4)サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない	全 体	51.7	18.2	5.3	2.7	2.2	5.0	14.9
	身体障害	48.6	18.8	5.6	3.2	2.6	3.6	17.6
	知的障害	62.9	16.0	4.1	0.6	0.9	4.7	10.7
	精神障害	50.6	18.5	5.7	3.0	2.3	10.6	9.4
(5)仕事や趣味、仲間と過ごす場所がある	全 体	27.4	20.6	17.8	5.1	6.4	6.8	15.9
	身体障害	18.9	20.4	21.1	6.2	7.7	5.9	19.8
	知的障害	50.6	21.7	11.0	0.9	0.9	5.3	9.4
	精神障害	32.1	20.4	13.6	5.7	7.9	12.1	8.3
(6)外に出かけても事故やけがの心配がない	全 体	47.6	21.3	7.1	1.7	3.8	4.0	14.5
	身体障害	48.2	20.2	6.7	1.9	4.0	2.7	16.3
	知的障害	50.0	24.5	7.2	1.3	2.8	3.1	11.0
	精神障害	42.3	21.5	8.3	1.9	4.2	10.2	11.7
(7)災害の情報や発生したとき安全に避難できる	全 体	55.1	18.8	5.8	1.5	2.2	3.7	12.9
	身体障害	54.1	18.6	5.2	1.6	2.0	2.6	15.8
	知的障害	58.8	21.1	6.0	1.3	1.3	3.1	8.5
	精神障害	54.3	17.0	7.9	1.5	4.2	8.3	6.8
(8)だまされたり泥棒にあつたりしない	全 体	49.6	18.1	7.6	2.1	3.5	4.2	14.9
	身体障害	44.1	19.5	8.7	2.4	4.0	3.0	18.2
	知的障害	59.1	17.9	6.6	0.9	1.6	4.4	9.4
	精神障害	59.2	12.8	4.9	1.9	3.8	8.7	8.7
(9)暮らしに困らないだけの収入がある	全 体	62.5	15.5	4.9	0.8	1.1	3.2	11.9
	身体障害	58.2	18.1	5.6	0.9	1.5	1.8	14.0
	知的障害	68.9	12.3	4.7	0.3	0.3	4.1	9.4
	精神障害	71.3	9.4	2.6	1.1	0.4	7.9	7.2
(10)安心して暮らせる住まいがある	全 体	64.0	14.2	3.2	1.3	1.7	2.8	12.7
	身体障害	59.9	15.7	3.7	1.7	2.3	1.6	15.1
	知的障害	71.1	12.6	2.8	0.6	0.3	3.5	9.1
	精神障害	71.3	10.6	1.9	0.8	1.1	6.8	7.5
(11)自分にあつた学校で学べる	全 体	23.4	12.7	11.3	2.8	8.5	11.8	29.6
	身体障害	17.0	11.3	13.2	3.3	9.8	11.2	34.2
	知的障害	46.2	16.7	6.9	0.6	3.1	7.2	19.2
	精神障害	20.8	13.2	9.1	3.4	9.8	19.6	24.2
(12)普通学級で自分にあつた教育が受けられる	全 体	18.8	11.8	14.9	2.4	8.9	12.3	30.8
	身体障害	17.4	11.5	12.3	2.5	9.8	10.6	35.9
	知的障害	24.2	14.2	27.0	2.5	4.1	8.8	19.2
	精神障害	17.7	10.2	10.6	1.9	11.3	23.0	25.3
(13)高校や大学等で障害に配慮した教育	全 体	21.2	13.9	10.6	2.9	8.6	11.6	31.1
	身体障害	18.9	13.6	9.2	2.6	9.6	9.9	36.3
	知的障害	26.7	17.3	17.0	3.8	4.4	10.7	20.1
	精神障害	23.4	11.3	8.7	3.0	10.2	19.2	24.2
(14)様々な職場があり選べる	全 体	38.4	15.7	7.3	2.0	5.0	7.9	23.8
	身体障害	31.8	14.5	7.6	2.0	6.3	7.5	30.1
	知的障害	54.7	20.8	5.7	0.6	0.9	6.0	11.3
	精神障害	44.2	14.0	7.9	3.4	4.5	11.7	14.3
(15)障害のある人もない人も同じように評価される	全 体	36.2	14.0	11.4	1.6	4.5	8.2	24.2
	身体障害	33.3	12.5	10.1	1.2	5.4	7.2	30.3
	知的障害	42.5	18.9	16.4	1.6	1.3	6.9	12.6
	精神障害	40.0	14.0	10.2	3.0	4.9	13.6	14.3
(16)必要な技術や知識を学ぶ場がある	全 体	34.3	18.7	7.6	1.6	5.1	8.0	24.7
	身体障害	30.8	16.7	7.1	1.5	6.6	7.0	30.2
	知的障害	40.6	26.4	10.1	1.3	1.3	6.6	13.8
	精神障害	40.4	17.4	6.8	2.3	3.8	13.2	16.2
(17)費用の心配をせずに必要な医療を受けられる	全 体	67.2	13.6	3.0	1.1	0.8	2.5	11.6
	身体障害	65.1	14.7	2.7	1.2	0.9	1.5	14.0
	知的障害	70.1	14.5	4.7	0.9	-	2.2	7.5
	精神障害	72.1	8.3	2.3	1.1	1.5	7.2	7.5
(18)自分にあつたリハビリテーションの機会が身近にある	全 体	48.6	20.0	6.4	1.7	2.2	4.9	16.2
	身体障害	48.9	20.3	5.3	1.5	2.5	3.3	18.2
	知的障害	44.7	23.3	11.3	2.2	1.3	4.1	13.2
	精神障害	52.1	15.1	4.9	1.9	2.3	12.1	11.7
(19)いろいろな人とコミュニケーションができる	全 体	37.7	25.1	12.8	2.1	2.5	5.0	14.8
	身体障害	34.8	25.7	13.2	2.4	2.5	3.7	17.7
	知的障害	43.4	25.2	13.8	1.3	0.9	4.7	10.7
	精神障害	42.3	22.6	10.2	1.5	4.2	10.6	8.7
(20)必要な情報を得やすい	全 体	32.3	26.4	13.4	3.1	2.7	6.2	15.9
	身体障害	31.4	27.8	11.9	3.1	2.6	4.3	18.8
	知的障害	30.5	24.5	19.5	2.8	2.8	8.5	11.3
	精神障害	38.1	23.4	11.7	3.4	2.6	10.6	10.2

問 13. 生活環境等の満足度 × 全体

問13. 満足度（全体）

総数=1608

単位:%



問 13. 生活環境等の満足度 × 障害種類別

	全体	満足	どちらかとい うと満足	どちらとも いえない	どちらかとい うと不満	不満	わからない	無回答
(1)学校や職場で無視等されない	全 体	15.5	17.5	18.9	5.9	6.0	12.5	23.6
	身体障害	16.2	17.3	19.0	4.1	1.9	12.1	29.5
	知的障害	15.1	25.5	20.1	9.4	9.7	6.9	13.2
	精神障害	13.6	9.1	17.0	8.7	17.7	20.8	13.2
(2)困ったとき手助けしてくれる	全 体	11.3	20.6	28.9	7.0	5.4	9.5	17.4
	身体障害	12.2	24.6	26.7	5.8	3.3	7.4	20.0
	知的障害	5.3	16.4	36.5	10.7	7.5	11.3	12.3
	精神障害	14.7	10.6	28.3	7.2	10.9	15.1	13.2
(3)相談できるところが身近にある	全 体	13.5	17.4	24.9	9.6	9.2	8.3	17.2
	身体障害	12.9	18.0	25.6	8.6	7.1	7.7	20.2
	知的障害	10.4	13.2	29.6	12.9	11.6	8.2	14.2
	精神障害	19.6	20.0	16.6	9.4	14.3	10.9	9.1
(4)サービスが受けられ一人暮らし でも不安がない	全 体	8.3	9.8	25.9	10.3	13.1	15.6	17.1
	身体障害	8.7	11.4	27.9	9.3	9.6	13.8	19.4
	知的障害	3.5	3.5	24.5	14.5	19.5	21.1	13.5
	精神障害	12.5	10.9	19.6	9.4	18.9	16.2	12.5
(5)仕事や趣味、仲間と過ごす場 所がある	全 体	8.1	11.0	27.1	8.5	9.5	16.1	19.8
	身体障害	6.5	10.5	30.4	6.7	7.4	15.1	23.2
	知的障害	8.5	13.5	22.6	11.9	14.2	15.1	14.2
	精神障害	13.6	9.8	19.2	11.3	11.7	21.1	13.2
(6)外に出かけても事故やけがの 心配がない	全 体	7.5	12.7	26.6	15.0	14.1	7.2	17.0
	身体障害	6.8	12.5	24.9	16.0	15.1	5.1	19.6
	知的障害	4.4	10.7	32.7	14.8	15.7	7.9	13.8
	精神障害	13.6	16.2	25.7	11.3	8.3	14.3	10.6
(7)災害の情報や発生したとき安全 に避難できる	全 体	6.6	7.6	29.2	13.7	13.7	12.3	16.9
	身体障害	6.3	8.3	28.3	13.9	14.0	9.3	20.0
	知的障害	4.4	4.7	30.2	15.7	16.0	15.7	13.2
	精神障害	10.2	8.7	31.7	10.6	9.8	19.6	9.4
(8)たまされたり泥棒にあったりし ない	全 体	9.8	11.0	27.9	8.2	10.1	14.6	18.3
	身体障害	10.0	12.6	28.8	6.9	8.0	11.8	21.9
	知的障害	5.7	5.3	28.0	10.7	14.5	22.3	13.5
	精神障害	13.6	11.7	24.5	10.2	13.2	16.2	10.6
(9)暮しに困らないだけの収入が ある	全 体	7.6	14.9	20.9	13.9	21.1	6.0	15.5
	身体障害	8.6	17.8	22.6	13.6	15.8	3.4	18.2
	知的障害	2.8	7.9	18.9	16.0	28.6	13.2	12.6
	精神障害	9.8	12.1	16.6	12.8	32.8	7.2	8.7
(10)安心して暮らせる住まいがあ る	全 体	22.0	22.1	18.1	7.3	10.4	5.0	15.0
	身体障害	23.5	25.0	18.1	6.7	7.1	2.3	17.2
	知的障害	16.7	18.2	18.2	9.1	13.8	10.4	13.5
	精神障害	22.6	15.8	17.7	7.5	18.9	9.1	8.3
(11)自分にあった学校で学べる	全 体	5.2	7.2	20.6	3.3	4.6	25.1	34.0
	身体障害	4.0	5.6	21.5	1.9	1.9	26.8	38.4
	知的障害	8.8	16.4	22.0	6.9	10.7	10.1	25.2
	精神障害	5.7	2.3	15.8	4.5	7.9	36.6	27.2
(12)普通学級で自分にあった教 育が受けられる	全 体	4.4	4.2	22.4	3.5	4.0	26.8	34.7
	身体障害	4.0	4.5	21.3	2.0	1.6	27.4	39.2
	知的障害	3.1	5.3	28.9	8.8	10.4	17.3	26.1
	精神障害	7.5	1.5	18.9	2.6	6.0	35.8	27.5
(13)高校や大学等で障害に配慮 した教育	全 体	3.6	3.1	20.9	3.7	4.9	29.0	34.8
	身体障害	3.7	3.5	20.5	2.4	2.4	28.0	39.4
	知的障害	1.6	2.8	24.2	7.5	10.7	27.4	25.8
	精神障害	5.7	1.9	18.5	4.2	7.2	35.1	27.5
(14)様々な職場があり選べる	全 体	4.9	5.7	18.6	9.3	12.9	21.5	27.1
	身体障害	5.0	5.6	19.6	8.8	6.1	21.3	33.7
	知的障害	4.4	7.5	16.0	12.3	26.4	17.6	15.7
	精神障害	5.3	4.2	17.7	7.9	22.6	26.8	15.5
(15)障害のある人もない人も同じ ように評価される	全 体	5.5	5.8	21.2	7.3	10.1	22.1	27.9
	身体障害	6.1	6.1	20.5	6.7	6.3	20.3	33.9
	知的障害	2.2	6.6	24.5	9.7	16.7	22.3	17.9
	精神障害	6.8	3.8	20.0	6.8	16.6	29.1	17.0
(16)必要な技術や知識を学ぶ場 がある	全 体	5.0	5.4	20.6	7.5	10.1	22.8	28.5
	身体障害	5.1	6.0	19.7	6.9	6.0	21.3	35.0
	知的障害	3.1	5.7	22.6	9.7	17.6	23.6	17.6
	精神障害	7.2	3.0	21.9	6.8	17.0	27.9	16.2
(17)費用の心配をせずに必要な 医療を受けられる	全 体	12.4	14.1	19.2	13.9	19.4	6.0	15.1
	身体障害	11.3	14.7	20.4	14.7	16.8	4.8	17.3
	知的障害	8.8	11.3	21.7	13.2	23.3	7.5	14.2
	精神障害	20.8	15.1	11.3	11.3	24.9	8.7	7.9
(18)自分にあったリハビリテーショ ンの機会が身近にある	全 体	7.5	10.3	20.4	12.4	17.0	13.4	19.0
	身体障害	6.8	11.5	21.6	12.5	14.5	12.0	21.1
	知的障害	3.5	6.0	19.8	14.2	24.2	14.2	18.2
	精神障害	14.7	10.9	16.6	9.8	17.7	18.1	12.1
(19)いろいろな人とコミュニケー ションができる	全 体	8.5	13.6	29.8	9.5	8.5	11.1	19.0
	身体障害	8.0	15.9	30.7	7.7	6.1	9.4	22.1
	知的障害	6.0	10.4	29.9	13.8	11.9	12.6	15.4
	精神障害	13.2	8.7	26.0	11.3	13.6	15.8	11.3
(20)必要な情報を得やすい	全 体	7.2	12.1	29.6	9.9	9.1	13.4	18.8
	身体障害	7.0	13.3	30.0	10.1	8.1	10.4	21.0
	知的障害	4.4	7.9	30.8	11.0	11.3	18.6	16.0
	精神障害	10.9	12.8	26.4	7.5	10.2	18.5	13.6

問 12. 重要度と問 13. 満足度(平均点)および重要度と満足度の差 × 主たる障害別

		全体	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語、 そしやく機能 障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害
(1)学校や職場で無視等されない	重要度	0.99	0.49	1.03	0.37	0.86	0.59	1.58	1.16
	満足度	0.48	0.76	0.31	0.25	0.68	0.99	0.33	-0.06
	差	0.51	-0.27	0.72	0.12	0.18	-0.40	1.25	1.22
(2)困ったとき手助けしてくれる	重要度	1.17	1.21	1.00	1.00	1.22	0.96	1.41	1.10
	満足度	0.35	0.66	0.36	0.74	0.44	0.54	0.01	0.15
	差	0.82	0.55	0.64	0.26	0.78	0.42	1.40	0.95
(3)相談できるところが身近にある	重要度	1.32	1.15	1.13	0.91	1.22	1.11	1.56	1.62
	満足度	0.22	0.33	0.23	0.43	0.22	0.38	-0.12	0.32
	差	1.10	0.82	0.90	0.48	1.00	0.73	1.68	1.30
(4)サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない	重要度	1.43	1.42	1.15	0.94	1.45	1.28	1.66	1.43
	満足度	-0.15	0.02	0.08	0.00	-0.06	0.04	-0.67	-0.17
	差	1.58	1.40	1.07	0.94	1.51	1.24	2.33	1.60
(5)仕事や趣味、仲間と過ごす場所がある	重要度	0.74	0.82	0.67	0.48	0.56	0.27	1.36	0.82
	満足度	0.00	0.17	0.18	0.11	0.03	0.01	-0.20	0.04
	差	0.74	0.65	0.49	0.37	0.53	0.26	1.56	0.78
(6)外に出かけても事故やけがの心配がない	重要度	1.31	1.57	1.11	0.89	1.44	1.18	1.33	1.16
	満足度	-0.20	-0.56	-0.18	-0.21	-0.40	-0.09	-0.25	0.29
	差	1.51	2.13	1.29	1.10	1.84	1.27	1.58	0.87
(7)災害の情報や発生したとき安全に避難できる	重要度	1.47	1.54	1.34	1.32	1.55	1.46	1.52	1.30
	満足度	-0.29	-0.53	-0.16	-0.24	-0.46	-0.11	-0.45	0.01
	差	1.76	2.07	1.50	1.56	2.01	1.57	1.97	1.29
(8)だまされたり泥棒にあたりしない	重要度	1.34	1.45	1.28	1.04	1.31	1.10	1.56	1.43
	満足度	0.03	-0.04	-0.04	-0.30	0.10	0.33	-0.41	0.08
	差	1.31	1.49	1.32	1.34	1.21	0.77	1.97	1.35
(9)暮らしに困らないだけの収入がある	重要度	1.62	1.61	1.39	1.22	1.60	1.54	1.78	1.70
	満足度	-0.33	0.00	-0.02	-0.22	-0.27	-0.03	-0.84	-0.55
	差	1.95	1.61	1.41	1.44	1.87	1.57	2.62	2.25
(10)安心して暮らせる住まいがある	重要度	1.63	1.65	1.36	1.27	1.60	1.57	1.76	1.69
	満足度	0.48	0.63	0.85	0.71	0.52	0.70	0.20	0.22
	差	1.15	1.02	0.51	0.56	1.08	0.87	1.56	1.47
(11)自分にあつた学校で学べる	重要度	0.68	0.45	0.86	0.63	0.48	0.16	1.41	0.52
	満足度	0.12	0.45	0.55	0.38	0.10	0.30	0.03	-0.11
	差	0.56	0.00	0.31	0.25	0.38	-0.14	1.38	0.63
(12)普通学級で自分にあつた教育が受けられる	重要度	0.51	0.11	0.69	0.79	0.48	0.30	0.76	0.45
	満足度	0.04	0.42	0.28	0.36	0.11	0.30	-0.34	0.12
	差	0.47	-0.31	0.41	0.43	0.37	0.00	1.10	0.33
(13)高校や大学等で障害に配慮した教育	重要度	0.63	0.18	1.05	0.63	0.57	0.36	0.86	0.68
	満足度	-0.09	0.04	0.14	0.27	0.06	0.19	-0.53	-0.11
	差	0.72	0.14	0.91	0.36	0.51	0.17	1.39	0.79
(14)様々な職場があり選べる	重要度	1.18	1.12	1.12	1.05	1.06	0.88	1.59	1.25
	満足度	-0.38	-0.08	-0.09	-0.23	-0.22	-0.02	-0.75	-0.71
	差	1.56	1.20	1.21	1.28	1.28	0.90	2.34	1.96
(15)障害のある人もない人も同じように評価される	重要度	1.12	1.14	1.28	0.71	1.03	1.00	1.26	1.16
	満足度	-0.21	-0.09	-0.20	-0.19	-0.09	0.20	-0.56	-0.38
	差	1.33	1.23	1.48	0.90	1.12	0.80	1.82	1.54
(16)必要な技術や知識を学ぶ場がある	重要度	1.12	1.12	1.22	0.90	1.00	0.92	1.34	1.20
	満足度	-0.25	0.09	-0.09	-0.27	-0.16	0.07	-0.58	-0.44
	差	1.37	1.03	1.31	1.17	1.16	0.85	1.92	1.64
(17)費用の心配をせずに必要な医療を受けられる	重要度	1.69	1.72	1.48	1.43	1.68	1.71	1.70	1.71
	満足度	-0.17	-0.03	-0.02	-0.19	-0.30	0.04	-0.37	-0.09
	差	1.86	1.75	1.50	1.62	1.98	1.67	2.07	1.80
(18)自分にあつたりハビリテーションの機会が身近にある	重要度	1.41	1.24	1.23	1.33	1.59	1.21	1.24	1.39
	満足度	-0.31	-0.20	-0.33	-0.15	-0.38	-0.14	-0.69	-0.09
	差	1.72	1.44	1.56	1.48	1.97	1.35	1.93	1.48
(19)いろいろな人とコミュニケーションができる	重要度	1.17	1.16	1.34	1.00	1.13	0.99	1.28	1.18
	満足度	0.06	0.34	0.03	0.00	0.10	0.33	-0.21	-0.04
	差	1.11	0.82	1.31	1.00	1.03	0.66	1.49	1.22
(20)必要な情報を得やすい	重要度	1.06	1.31	1.33	1.05	1.02	0.94	0.91	1.16
	満足度	-0.02	-0.20	-0.33	0.11	-0.02	0.22	-0.26	0.07
	差	1.08	1.51	1.66	0.94	1.04	0.72	1.17	1.09

注) 重要度の斜め字は 1.5 以上、満足度の斜め字は -0.5 以下、差の網かけは 1.5 以上

問 12. 重要度と問 13. 満足度(平均点)および重要度と満足度の差 × 地域別

		北 部	中 部	南 部
(1)学校や職場で無視等されない	重要度	1.01	0.95	1.04
	満足度	0.36	0.53	0.48
	差	0.65	0.42	0.56
(2)困ったとき手助けしてくれる	重要度	1.25	1.14	1.15
	満足度	0.31	0.38	0.29
	差	0.94	0.76	0.86
(3)相談できるところが身近にある	重要度	1.36	1.32	1.29
	満足度	0.18	0.25	0.14
	差	1.18	1.07	1.15
(4)サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない	重要度	1.54	1.40	1.37
	満足度	-0.19	-0.15	-0.17
	差	1.73	1.55	1.54
(5)仕事や趣味、仲間と過ごす場所がある	重要度	0.80	0.73	0.70
	満足度	-0.09	0.05	-0.11
	差	0.89	0.68	0.81
(6)外に出かけても事故やけがの心配がない	重要度	1.44	1.29	1.22
	満足度	-0.29	-0.21	-0.11
	差	1.73	1.50	1.33
(7)災害の情報や発生したとき安全に避難できる	重要度	1.56	1.46	1.39
	満足度	-0.31	-0.27	-0.31
	差	1.87	1.73	1.70
(8)だまされたり泥棒にあたりしない	重要度	1.43	1.33	1.27
	満足度	0.00	0.07	-0.05
	差	1.43	1.26	1.32
(9)暮らしに困らないだけの収入がある	重要度	1.65	1.61	1.64
	満足度	-0.42	-0.27	-0.43
	差	2.07	1.88	2.07
(10)安心して暮らせる住まいがある	重要度	1.63	1.62	1.63
	満足度	0.56	0.53	0.24
	差	1.07	1.09	1.39
(11)自分にあった学校で学べる	重要度	0.76	0.65	0.61
	満足度	-0.04	0.25	0.03
	差	0.80	0.40	0.58
(12)普通学級で自分にあった教育が受けられる	重要度	0.61	0.49	0.40
	満足度	-0.10	0.15	-0.08
	差	0.71	0.34	0.48
(13)高校や大学等で障害に配慮した教育	重要度	0.58	0.67	0.58
	満足度	-0.21	-0.03	-0.10
	差	0.79	0.70	0.68
(14)様々な職場があり選べる	重要度	1.17	1.17	1.19
	満足度	-0.46	-0.34	-0.40
	差	1.63	1.51	1.59
(15)障害のある人もない人も同じように評価される	重要度	1.15	1.08	1.18
	満足度	-0.22	-0.24	-0.15
	差	1.37	1.32	1.33
(16)必要な技術や知識を学ぶ場がある	重要度	1.17	1.10	1.08
	満足度	-0.19	-0.27	-0.28
	差	1.36	1.37	1.36
(17)費用の心配をせずに必要な医療を受けられる	重要度	1.73	1.68	1.66
	満足度	-0.20	-0.12	-0.27
	差	1.93	1.80	1.93
(18)自分にあたりハビリテーションの機会が身近にある	重要度	1.47	1.39	1.37
	満足度	-0.38	-0.27	-0.36
	差	1.85	1.66	1.73
(19)いろいろな人とコミュニケーションができる	重要度	1.27	1.13	1.14
	満足度	0.01	0.06	0.06
	差	1.26	1.07	1.08
(20)必要な情報を得やすい	重要度	1.09	1.09	0.99
	満足度	-0.08	0.01	-0.07
	差	1.17	1.08	1.06

注) 重要度の斜め字は 1.5 以上、満足度の斜め字は -0.5 以下、差の網かけは 1.5 以上

問 12. 重要度と問 13. 満足度(平均点)および重要度と満足度の差 × 年齢別

		0~5	6~11	12~14	15~17	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~74	75以上
(1)学校や職場で無視等されない	重要度	1.71	1.70	1.60	1.83	1.50	1.63	1.39	1.17	0.81	0.74	0.63	0.34
	満足度	0.06	0.67	0.47	0.50	0.52	0.37	0.03	0.19	0.63	0.70	0.61	0.78
	差	1.65	1.03	1.13	1.33	0.98	1.26	1.36	0.98	0.18	0.04	0.02	-0.44
(2)困ったとき手助けしてくれる	重要度	1.67	1.57	1.33	1.47	1.36	1.33	1.25	1.10	0.94	1.20	1.08	1.16
	満足度	-0.60	-0.14	-0.15	-0.06	0.50	0.20	0.07	0.19	0.31	0.31	0.53	0.79
	差	2.27	1.71	1.48	1.53	0.86	1.13	1.18	0.91	0.63	0.89	0.55	0.37
(3)相談できるところが身近にある	重要度	1.57	1.69	1.47	1.80	1.59	1.49	1.44	1.46	1.14	1.24	1.18	1.27
	満足度	0.19	-0.26	-0.73	-0.26	0.05	0.04	0.15	0.11	0.17	0.25	0.29	0.57
	差	1.38	1.95	2.20	2.06	1.54	1.45	1.29	1.35	0.97	0.99	0.89	0.70
(4)サービスが受けられ一人暮らしでも不安がない	重要度	1.75	1.72	1.53	1.75	1.10	1.41	1.50	1.33	1.26	1.51	1.33	1.55
	満足度	-0.87	-0.97	-0.82	-0.53	-0.31	-0.56	-0.47	-0.20	-0.06	-0.07	-0.04	0.29
	差	2.62	2.69	2.35	2.28	1.41	1.97	1.97	1.53	1.32	1.58	1.37	1.26
(5)仕事や趣味、仲間と過ごす場所がある	重要度	1.58	1.39	1.36	1.55	1.00	1.18	1.11	0.73	0.35	0.58	0.53	0.54
	満足度	-0.13	-0.88	-0.33	-0.44	0.26	0.03	-0.10	0.02	-0.07	-0.07	0.06	0.28
	差	1.71	2.27	1.69	1.99	0.74	1.15	1.21	0.71	0.42	0.65	0.47	0.26
(6)外に出かけても事故やけがの心配がない	重要度	1.48	1.51	1.47	1.32	1.32	1.27	1.29	1.22	1.16	1.34	1.36	1.39
	満足度	-1.05	-0.95	-0.38	-0.17	0.05	-0.20	-0.17	-0.02	-0.09	-0.21	-0.41	0.03
	差	2.53	2.46	1.85	1.49	1.27	1.47	1.46	1.24	1.25	1.55	1.77	1.36
(7)災害の情報や発生したとき安全に避難できる	重要度	1.67	1.68	1.60	1.33	1.48	1.45	1.44	1.41	1.34	1.52	1.49	1.57
	満足度	-0.89	-1.00	-0.08	-0.61	-0.33	-0.46	-0.30	-0.19	-0.09	-0.21	-0.35	-0.15
	差	2.56	2.68	1.68	1.94	1.81	1.91	1.74	1.60	1.43	1.73	1.84	1.72
(8)だまされたり泥棒にあたりしない	重要度	1.52	1.63	1.60	1.65	1.52	1.34	1.60	1.27	1.14	1.18	1.26	1.42
	満足度	-0.38	-0.57	0.00	-0.31	0.31	-0.32	-0.21	0.07	0.17	0.00	0.17	0.25
	差	1.90	2.20	1.60	1.96	1.21	1.66	1.81	1.20	0.97	1.18	1.09	1.17
(9)暮らしに困らないだけの収入がある	重要度	1.57	1.71	1.71	1.90	1.86	1.72	1.80	1.67	1.50	1.69	1.54	1.56
	満足度	-0.63	-0.97	-0.67	-0.77	-0.50	-0.83	-0.72	-0.61	-0.08	-0.44	-0.26	0.28
	差	2.20	2.68	2.38	2.67	2.36	2.55	2.52	2.28	1.58	2.13	1.80	1.28
(10)安心して暮らせる住まいがある	重要度	1.62	1.79	1.79	1.90	1.86	1.71	1.75	1.67	1.53	1.65	1.53	1.58
	満足度	0.00	-0.21	-0.08	0.40	0.81	-0.01	0.22	0.35	0.55	0.45	0.58	0.96
	差	1.62	2.00	1.87	1.50	1.05	1.72	1.53	1.32	0.98	1.20	0.95	0.62
(11)自分にあった学校で学べる	重要度	1.81	1.73	1.80	1.80	1.17	0.99	0.79	0.70	0.36	0.34	0.43	0.21
	満足度	-0.47	0.27	0.60	-0.05	0.47	0.03	-0.22	0.25	0.26	-0.10	0.19	0.38
	差	2.28	1.46	1.20	1.85	0.70	0.96	1.01	0.45	0.10	0.44	0.24	-0.17
(12)普通学級で自分にあった教育が受けられる	重要度	1.29	0.81	0.80	0.60	0.67	0.62	0.73	0.51	0.49	0.40	0.34	0.20
	満足度	-0.89	-0.27	-0.07	-0.59	0.35	-0.25	-0.11	0.25	0.26	-0.14	0.30	0.31
	差	2.18	1.08	0.87	1.19	0.32	0.87	0.84	0.26	0.23	0.54	0.04	-0.11
(13)高校や大学等で障害に配慮した教育	重要度	1.25	1.24	1.38	0.95	0.86	0.81	0.61	0.69	0.55	0.54	0.48	0.30
	満足度	-0.87	-0.80	-0.11	-0.81	0.05	-0.40	-0.30	0.02	0.22	-0.13	0.14	0.28
	差	2.12	2.04	1.49	1.76	0.81	1.21	0.91	0.67	0.33	0.67	0.34	0.02
(14)様々な職場があり選べる	重要度	1.58	1.71	1.80	1.47	1.45	1.49	1.42	1.30	1.24	1.07	0.99	0.46
	満足度	-0.83	-1.32	-1.00	-1.12	-0.44	-0.58	-0.70	-0.36	-0.25	-0.23	0.02	0.04
	差	2.41	3.03	2.80	2.59	1.89	2.07	2.12	1.66	1.49	1.30	0.97	0.42
(15)障害のある人もない人も同じように評価される	重要度	1.47	1.32	1.29	1.17	1.18	1.21	1.39	1.34	1.10	1.06	0.97	0.68
	満足度	-0.58	-1.16	-0.63	-0.69	-0.24	-0.30	-0.59	-0.18	-0.14	-0.06	0.05	0.19
	差	2.05	2.48	1.92	1.86	1.42	1.51	1.98	1.52	1.24	1.12	0.92	0.49
(16)必要な技術や知識を学ぶ場がある	重要度	1.47	1.34	1.47	1.42	1.23	1.26	1.47	1.32	1.10	1.09	0.93	0.59
	満足度	-0.67	-1.07	-0.25	-1.00	-0.06	-0.35	-0.45	-0.18	-0.15	-0.24	-0.06	0.09
	差	2.14	2.41	1.72	2.42	1.29	1.61	1.92	1.50	1.25	1.33	0.99	0.50
(17)費用の心配をせずに必要な医療を受けられる	重要度	1.76	1.81	1.60	1.80	1.67	1.69	1.78	1.66	1.57	1.78	1.69	1.67
	満足度	-0.29	-0.51	-0.62	-0.78	0.06	-0.53	-0.31	-0.13	-0.03	-0.33	-0.29	0.31
	差	2.05	2.32	2.22	2.58	1.61	2.22	2.09	1.79	1.60	2.11	1.98	1.36
(18)自分にあったリハビリテーションの機会が身近にある	重要度	1.80	1.59	1.14	1.15	1.35	1.29	1.44	1.25	1.30	1.47	1.44	1.50
	満足度	-1.00	-1.05	-0.77	-0.94	-0.59	-0.56	-0.35	-0.32	-0.22	-0.33	-0.34	0.13
	差	2.80	2.64	1.91	2.09	1.94	1.85	1.79	1.57	1.52	1.80	1.78	1.37
(19)いろいろな人とコミュニケーションができる	重要度	1.52	1.43	1.47	1.40	1.38	1.23	1.35	1.03	1.00	1.12	1.08	1.20
	満足度	-0.65	-0.37	-0.14	-0.56	0.44	-0.15	-0.07	-0.12	0.16	0.07	0.15	0.35
	差	2.17	1.80	1.61	1.96	0.94	1.38	1.42	1.15	0.84	1.05	0.93	0.85
(20)必要な情報を得やすい	重要度	1.24	1.04	1.29	1.05	1.05	0.98	1.24	0.96	0.96	1.07	1.15	1.02
	満足度	-0.65	-0.45	-0.31	-0.47	-0.05	-0.26	-0.14	0.01	0.13	-0.10	-0.02	0.26
	差	1.89	1.49	1.60	1.52	1.10	1.24	1.38	0.95	0.83	1.17	1.17	0.76

注) 重要度の斜め字は 1.5 以上、満足度の斜め字は -0.5 以下、差の網かけは 1.5 以上

4 暮らしの場や家計について

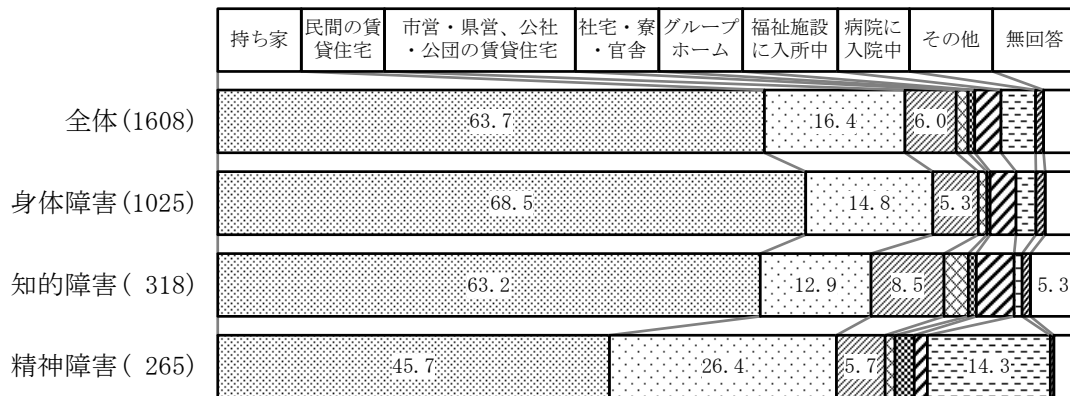
(1) 暮らしている場所

① 暮らしている場所

○全体では、「持ち家」が約64%で最も多く、「民間の賃貸住宅」が約16%で続いている。
 ○身体障害、知的障害では「持ち家」が60%以上であり、次いで「民間の賃貸住宅」が10数%となっている。精神障害では「持ち家」が45.7%、「民間の賃貸住宅」26.4%となっている一方、「病院に入院中」が14.3%と比較的多くなっている。このほか、「グループホーム」についても精神障害で若干多くなっている。

問 14. 暮らしている場所 × 障害種類別

単位：%（5%未満非表示）

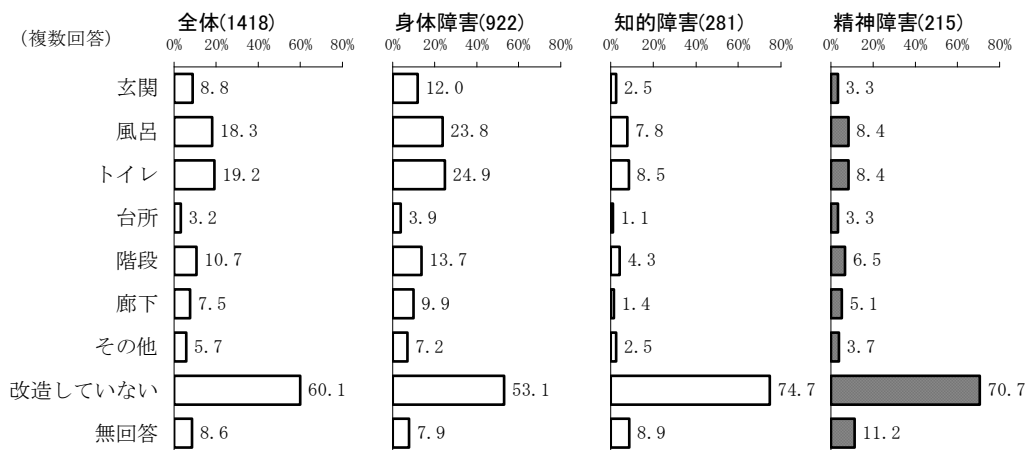


(注) 5%未満数値：全体(1.4 0.8 3.0 4.0 0.9 3.8)身体障害(1.0 0.4 3.0 2.3 1.1 3.6)知的障害(2.8 0.9 4.4 0.9 0.9)精神障害(1.1 2.3 1.5 0.4 2.6)

② 住まいの改造をしたところ

○施設や病院に入所・入院している人以外で、住まいの改造をしたところについては、全体の3割程度の人が何らかの改造を行っており（「改造していない」「無回答」以外の人）、「トイレ」「風呂」「階段」などの改造が比較的多い。

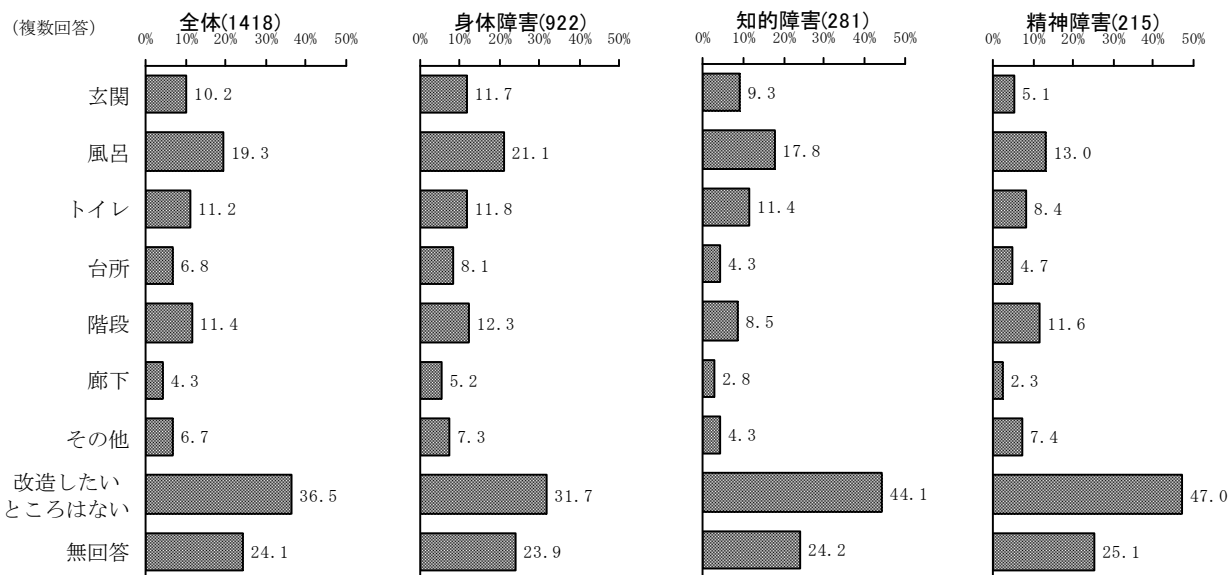
付問 14-1. 住まいの改造をしたところ × 障害種類別



③ これから住まいの改造をしたいところ

○前問と同様、施設や病院に入所・入院している人以外で、今後、住まいの改造をしたいところを聞いたところ、全体の4割程度の人は何らかの改造意向をもっており（改造したいところはない）「無回答」以外の人）、具体的には、「風呂」の改造意向が強く、「階段」「トイレ」の順がこれに続く。改造需要は「トイレ」から「風呂」に移行しつつあるといえる。このほか、「玄関」の希望も比較的多い。

付問 14-2. これから住まいの改造をしたいところ × 障害種類別



(2) 生活費

○生活費については、全体で「すべて家族の収入」「すべて（本人の）収入でまかなっている」「家族の収入がほとんどで一部、（本人の）収入」などが比較的多い。

○障害種類別には、身体障害については、各障害のなかでも本人の収入の割合が大きく、逆に知的障害の場合には、家族の収入による場合が半数以上となる。精神障害についても、家族の力が比較的大きくなっている。言い換えれば、知的障害、精神障害については、家族の負担が大きいいといえる。

問 15. 生活費 × 障害種類別

単位：%（5%未満非表示）

	すべて収入でまかなっている	収入がほとんどで一部、家族の収入	家族の収入がほとんどで一部、収入	すべて家族の収入	その他	無回答
全体(1608)	22.6	13.3	22.1	25.5	11.5	5.0
身体障害(1025)	30.6	17.7	20.2	16.8	10.3	
知的障害(318)	5.3	27.7	53.5			5.7
精神障害(265)	14.3	6.0	22.6	25.7	24.5	6.8

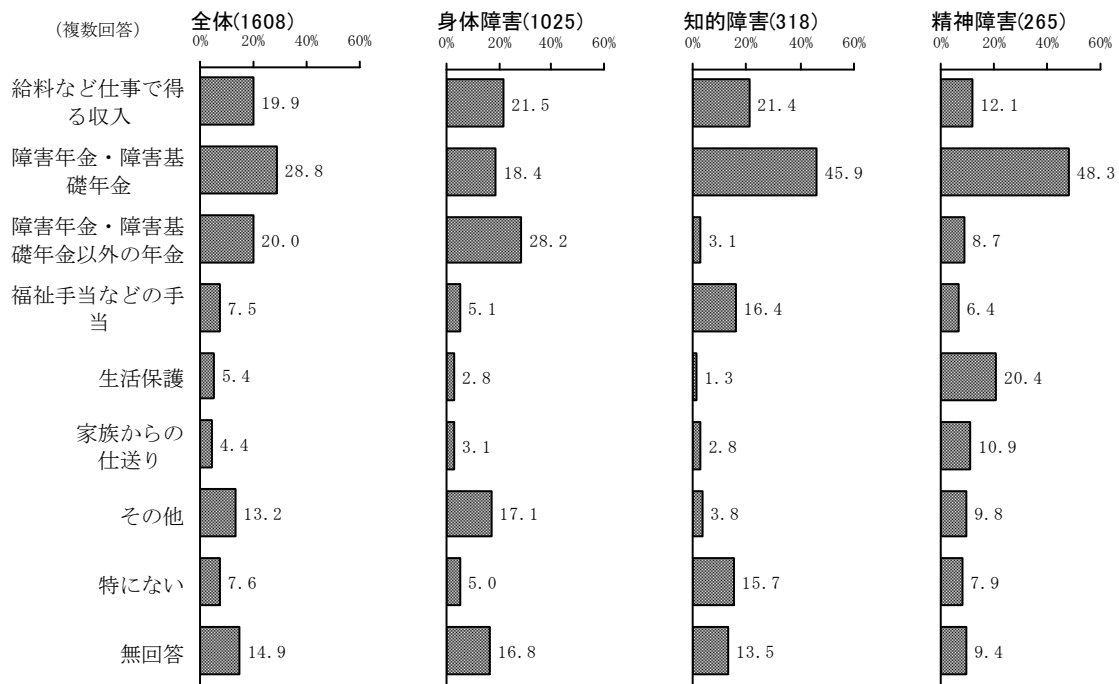
(注) 5%未満数値：身体障害(4.4)知的障害(3.5 4.4)

(3) 収入源

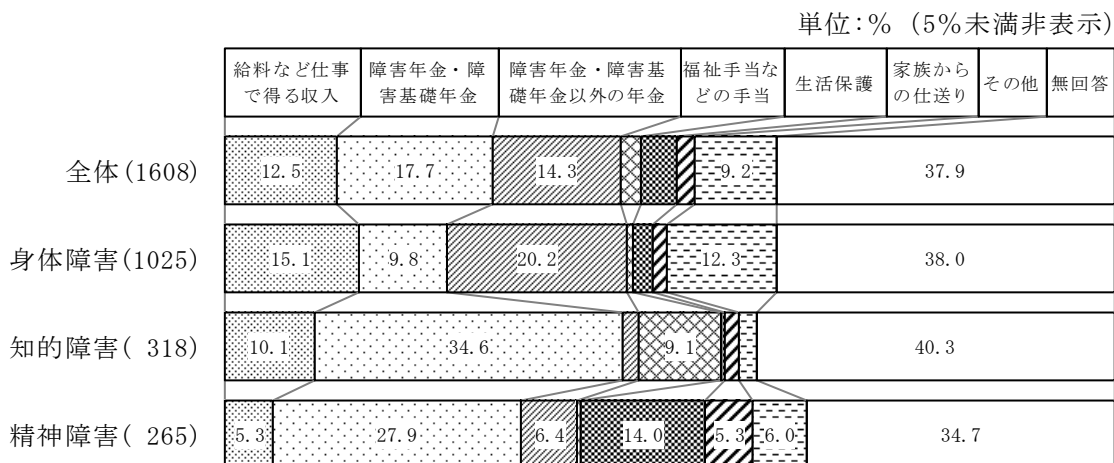
○障害者本人の収入源については、全体では「障害年金・障害基礎年金」「障害年金・障害基礎年金以外の年金」「給料など仕事で得る収入」が多くなっており、最も金額が大きいものについても同様の傾向がみられる。

○障害別には、身体障害については、高齢者が多いことや就労している人が多いこともあり、「障害年金・障害基礎年金以外の年金」「給料など仕事で得る収入」が多くなっており、知的障害や精神障害では、「障害年金・障害基礎年金」に頼る傾向が強い。このほか、精神障害では「生活保護」を受けている世帯も多く、経済的に厳しい状況にあることがわかる。

問 16. 収入源(複数回答) × 障害種類別



問 16 収入源(最も金額の大きいもの) × 障害種類別



(注) 5%未満数値: 全体(2.4 3.9 2.2)身体障害(0.8 2.2 1.6)知的障害(1.9 0.6 1.6 1.9)精神障害(0.4)

5 介助について

(1) 日常生活の状況（自立度）

- 食事、トイレ、入浴、着替え、家の中の移動など、自身の生活行動をはじめ、炊事・洗濯・掃除などの家事、日用品の買い物、お金の管理、コミュニケーションといった日常生活行動の自立状況については、身体障害では、食事～家の中の移動といった自身の行動については概ね6割以上、お金の管理、コミュニケーションについて5割以上で自立しているが、家事、買い物について4割台の自立と低くなっている。
- 知的障害では、家の中の移動で高い自立状況を示すものの、そのほかの自身の生活行動は3～5割台の自立と高くない。また、家事や買い物等、社会的な関係をもって行動する事項については低い自立状況となっており、「全部、介助や身守りが必要」など介助の度合いの高い人が多い。
- 精神障害についても、自身の生活のための行動と家事、社会的行動との間に大きな自立度の差がみられる。また、「体調によってできたり、できなかつたり」する割合が高い。

問 17. 日常生活の状況(身体障害)

総数=1025

単位:% (5%未満非表示)

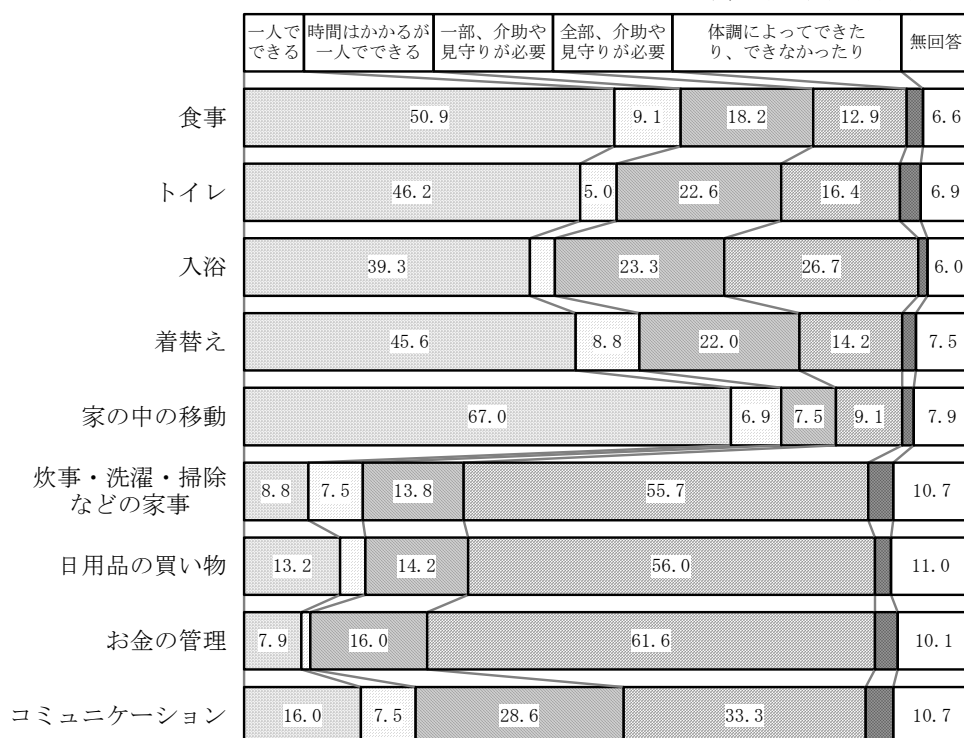
	一人で できる	時間はかかるが 一人でできる	一部、介助や 見守りが必要	全部、介助や 見守りが必要	体調によってできたり、 できなかつたり	無回答
食事	67.6				10.1 6.1 6.0	8.5
トイレ	66.2				9.9 9.5	9.3
入浴	60.2				7.4 6.6 15.4	9.1
着替え	60.8				10.5 8.2 11.1	8.5
家の中の移動	61.4				11.4 5.5 10.0	10.1
炊事・洗濯・掃除 などの家事	40.7		8.6	7.9	21.0 6.8	15.0
日用品の買い物	41.3		8.3	8.1	22.4 5.5	14.4
お金の管理	56.3			6.5	15.5	14.8
コミュニケーション	56.1			9.6	7.2 7.7	15.5

(注) 5%未満数値：食事(1.6)トイレ(4.1 1.1)入浴(1.3)着替え(0.9)家の中の移動(1.7)お金の管理(4.8 2.0)コミュニケーション(3.9)

問 17. 日常生活の状況(知的障害)

総数=318

単位:% (5%未満非表示)

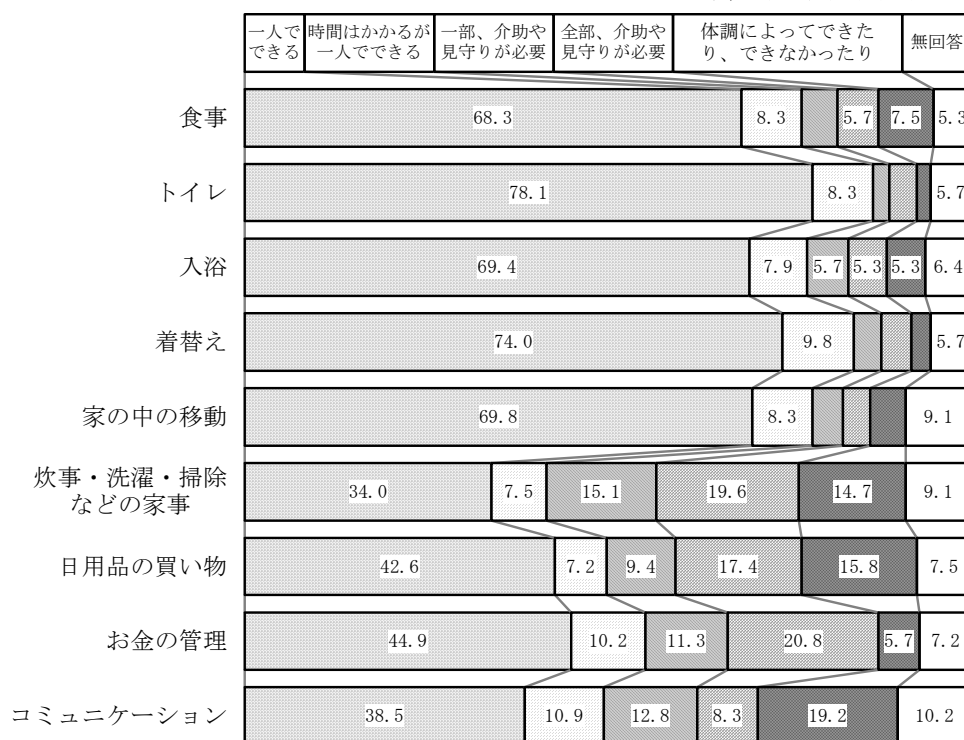


(注) 5%未満数値：食事(2.2)トイレ(2.8)入浴(3.5 1.3)着替え(1.9)家の中の移動(1.6)炊事・洗濯・掃除などの家事(3.5)日用品の買い物(3.5 2.2)お金の管理(1.3 3.1)コミュニケーション(3.8)

問 17. 日常生活の状況(精神障害)

総数=265

単位:% (5%未満非表示)



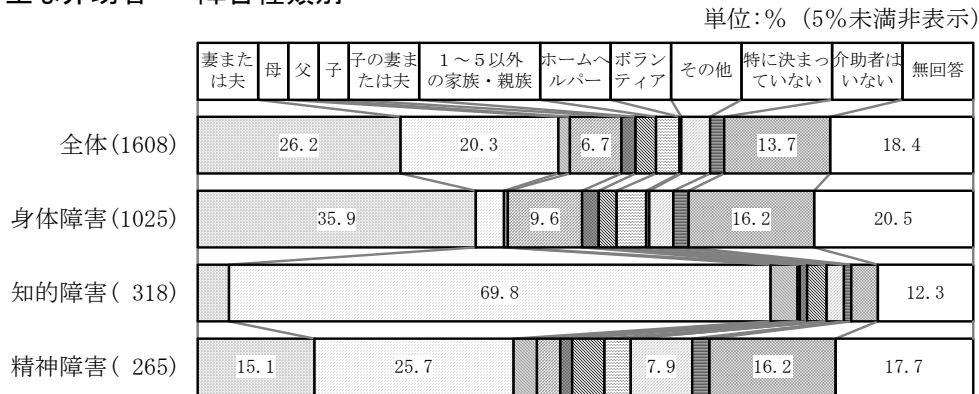
(注) 5%未満数値：食事(4.9)トイレ(2.3 3.8 1.9)着替え(3.8 4.2 2.6)家の中の移動(4.2 3.8 4.9)

(2) 主な介助者について

① 主な介助者

○主な介助者については、身体障害では配偶者が最も多く、全体の3分の1以上を占めている。知的障害では圧倒的に母親が多く、7割程度を占めている。精神障害でも4人に1人は母親となり、配偶者も15%程度となっている。また、身体障害、精神障害の場合は、「介助者はいない」人も16%程度いるのに対して、知的障害では4%と少ない点が特徴的である。

問 18. 主な介助者 × 障害種類別



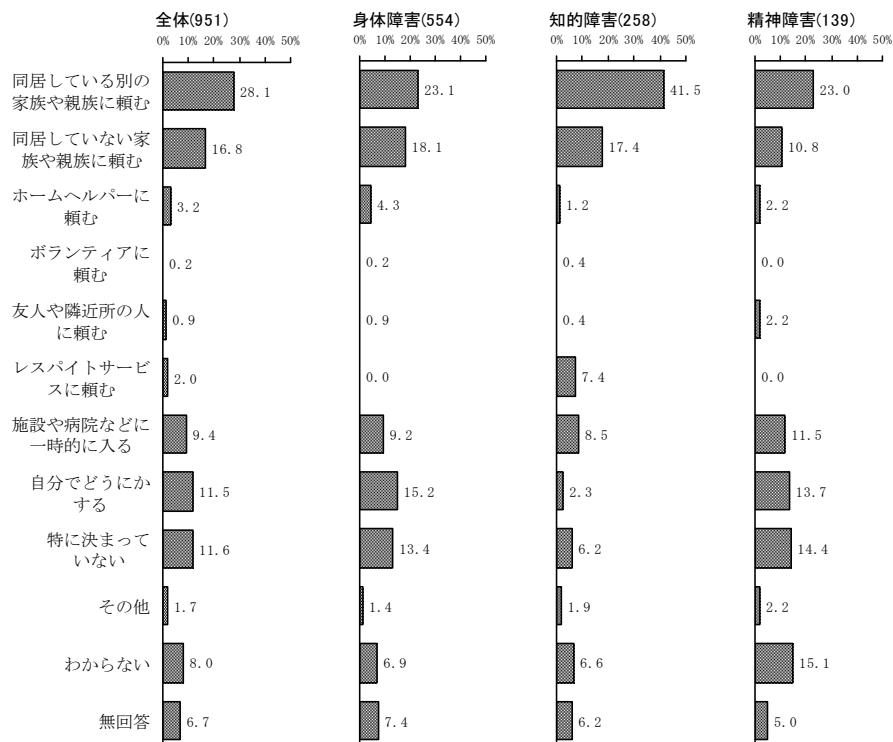
(注) 5%未満数値: 全体(1.5 1.8 2.7 3.0 0.2 3.7 1.8) 身体障害(3.6 0.5 2.1 2.3 3.8 0.4 3.1 2.0) 知的障害(4.1 3.5 0.3 0.9 2.5 - - 2.2 0.9 3.5) 精神障害(3.0 3.0 1.5 4.2 3.4 - 2.3)

② 主な介助者が一時的に介助できない場合

○主な介助者が病気や事故、用事等で一時的に介助できない場合については、同居している別の家族や親族に頼むのが一般的だが、同居していない家族や親族に頼むケースも少なくない。

○障害別には、身体障害、精神障害で、自分でどうにかするというケースが比較的多いが、知的障害では、そういうケースは稀であり、施設等の短期入所、次いでレスパイトサービスの利用が多くなっている。

付問 18-1. 主な介助者が一時的に介助できない場合 × 障害種類別



③ 主な介助者の健康状態

○代替する者が十分とはいえないなかで、介助者自身の健康状態については、おおむね健康という人は半数を割っており、4人に1人は疲れを感じており、病気の人でも1割以上いる。

○障害別では、精神障害の介助者について、健康な人は3割程度にとどまる一方、疲れている人が3割程度、病気の人が2割程度、病気がちの人が1割程度おり、最も厳しい状況となっている。

付問 18-2. 主な介助者の健康状態 × 障害種類別

単位：％（5％未満非表示）

	おおむね健康	病気ではないが疲れている	病気がちである	現在、病気にかかっている	無回答	
全体(951)	43.8		25.2	7.0	11.1	12.7
身体障害(554)	44.2		24.0	6.9	10.6	14.3
知的障害(258)	50.4		26.0	5.8	7.8	10.1
精神障害(139)	30.2		28.8	10.1	19.4	11.5

(3) 介助や見守りを受けている時間

○介助や見守りを受けている1日あたりの時間は、全体では約4割が自立（介助や見守りを受けていない）であり、その他では、12時間以上の介助・見守りを受けている人が2割弱程度いる。

○障害別には、身体障害で介助等を受けていない人が4割強となり、12時間以上は12%程度と少なくなる。これに対し、知的障害では介助等を受けていない人は17%にとどまり、逆に12時間以上の人が4割を超えており、介助・見守りの大変な様子がうかがわれる。精神障害では、介助や見守りは受けていない人が4割近くいる一方、12時間以上は19%と身体障害よりも高くなっている。

問 19. 介助や見守りを受けている時間 × 障害種類別

単位：％（5％未満非表示）

	介助や見守りは受けていない	1時間未満	1～3時間未満	3～6時間未満	6～12時間未満	12時間以上	無回答	
全体(1608)	39.2		5.4	8.1	6.9	6.3	18.9	15.0
身体障害(1025)	46.2			6.0	8.9	6.3	12.3	15.7
知的障害(318)	17.0	5.7	9.4	11.6			40.6	12.6
精神障害(265)	38.9		5.7	8.3	6.0	7.2	18.5	15.5

(注) 5%未満数値：身体障害(4.5)知的障害(3.1)

6 外出について

(1) 1週間での外出日数

① 外出の頻度

- 1週間のうちで外出する日数は、全体では4割以上の人ほとんど毎日外出しており、週に3、4日という人も19%となっている。まったく外出しない人は8%弱となっている。
- 障害別では、知的障害の場合の外出頻度が特に高く、3人に2人がほとんど毎日外出している。一方、精神障害では「あまり外出しない」「まったく外出しない」をあわせると3割近くとなり、他の障害よりも高くなっている。

問 20. 外出の頻度(1週間での外出日数) × 障害種類別

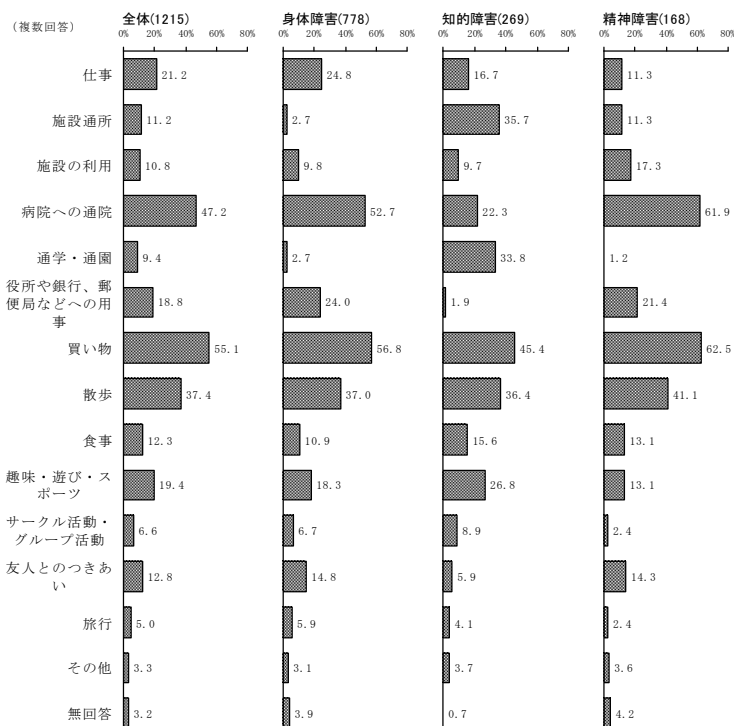
単位:% (5%未満非表示)

	ほとんど毎日	週に3、4日	週に1、2日	あまり外出しない	まったく外出しない	無回答
全体(1608)	41.9	18.9	14.7	12.0	7.5	
身体障害(1025)	36.7	22.2	17.0	11.6	3.2	
知的障害(318)	66.7	8.5	9.4	6.9	5.3	
精神障害(265)	32.5	18.5	12.5	19.6	10.2	6.8

② 外出の目的

- 外出の目的については、買い物、通院、散歩などが比較的多い。
- 障害別には、外出頻度が極めて高い知的障害について、若い人や18歳未満の子どもが多いこともあり、毎日施設通所、通学・通園している様子が見られる。

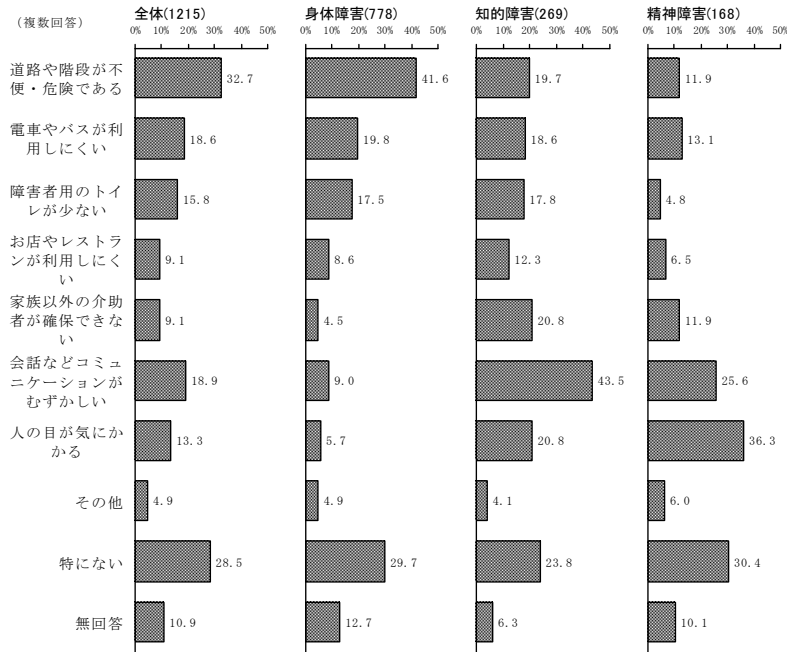
付問 20-1. 外出の目的 × 障害種類別



③ 外出したときに困ること

○外出の際に困ることとして、身体障害では、「道路や階段が不便、危険である」を挙げる割合が高い。知的障害では「会話などコミュニケーションが難しい」が最も多く、40%を超えている。精神障害の場合は、「人の目が気にかかる」が36%と高くなっている。

付問 20-2. 外出したときに困ること × 障害種類別

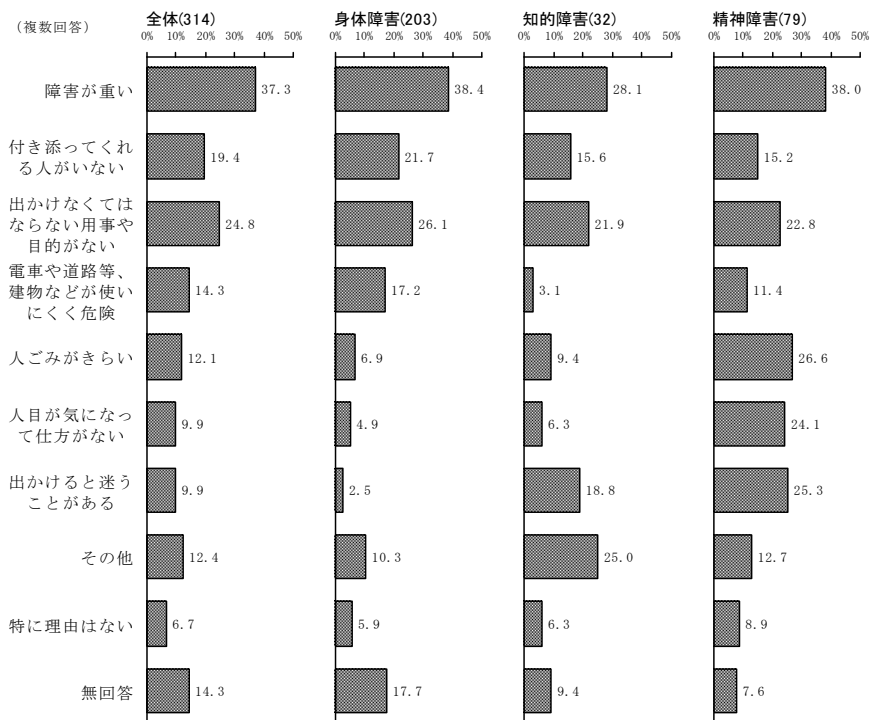


④ 外出しない理由

○あまり外出しない、あるいはまったく外出しない理由については、総じて「障害が重い」、「用事や目的がない」を挙げる割合が高い。

○障害別にみると、知的障害で「出かけると迷うことがある」、精神障害で「人ごみがきらい」、「迷うことがある」、「人目が気になって仕方がない」などの理由を挙げる割合が高くなっている。

付問 20-3. 外出しない理由 × 障害種類別



7 サービス利用の現況と今後の展望について

(1) サービスの利用状況と満足度・今後の利用意向

① 身体障害

○身体障害では、「⑭補装具の交付・修理の利用」や「⑬日常生活用具の給付や貸し出し」のほか、「④デイサービス」、「②家事援助」「①身体介護」の利用が多い。利用の評価では、「満足」から「普通」の評価が多く、「不満」「やや不満」の割合は全般的に低い。

○今後、利用したいサービスとしては、各種訪問サービスや④デイサービスのほか、⑬日常生活用具の給付や貸し出し、⑪相談窓口やケースワーカー、⑭補装具の交付・修理、⑰緊急通報システムなど生活支援を挙げる割合が高い。

問 21. 身体障害 サービスの利用状況と満足度・今後の利用意向(総数=1025)

現在の利用状況	利用している割合	満足度					身体障害者 今後の利用意向	
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満		
訪問	①身体介護(ホームヘルプサービス)	7.5	2.9	2.0	1.8	0.8	-	4.5
	②家事援助(ホームヘルプサービス)	8.0	3.2	2.4	1.9	0.2	0.3	6.4
	③移動介護(ホームヘルプサービス)	5.0	2.0	1.3	1.4	0.2	0.1	4.6
通所	④デイサービス	9.8	3.5	2.7	2.8	0.6	0.1	5.5
	⑤ショートステイ	3.7	1.0	1.2	1.2	0.3	0.1	3.2
	⑥通所施設(作業所等を含む)	2.4	0.7	0.4	1.0	0.3	0.1	3.3
居住	⑦グループホーム(生活ホーム、ふれあいホーム等を含む)	1.1	0.3	0.3	0.3	0.2	-	1.8
	⑧入所施設	4.7	1.9	1.1	1.4	0.3	0.1	3.3
活動	⑨生活の自立のための訓練(作業所等を含む)	2.9	0.6	0.9	1.0	0.4	0.1	1.6
	⑩職業技術を身につける訓練(作業所等を含む)	1.3	0.3	0.4	0.4	0.2	-	1.4
生活支援	⑪相談窓口・ケースワーカー	6.9	1.7	1.6	2.0	1.4	0.4	5.7
	⑫手話通訳者や要約筆記者の派遣サービス	2.0	0.5	0.2	0.8	0.2	0.4	0.6
	⑬日常生活用具の給付や貸し出し	8.4	3.3	2.0	2.0	0.8	0.3	5.9
	⑭補装具の交付・修理	11.3	3.5	2.9	2.1	1.7	1.1	5.5
	⑮自動車免許の取得等にかかる費用の助成	2.0	0.3	0.2	0.8	0.2	0.5	2.2
	⑯リフト付きワゴン車の貸出し	1.5	0.6	0.1	0.4	0.1	0.3	1.9
	⑰緊急通報システム	2.7	1.0	0.5	0.8	0.2	0.3	5.1
	⑱レスパイトサービス	0.6	0.1	0.1	0.4	-	-	0.5

※表中の網掛けは、評価のなかで最も割合の高い部分

② 知的障害

○知的障害では、「⑥通所施設」の利用が高く、約3分の1に達している。そのほか、「⑱レスパイトサービス」「③移動介護」が20%以上の利用率である。「⑨生活の自立のための訓練」「⑩職業技術を身につける訓練」も比較的利用率が高い。利用の満足度は、通所施設で高く、その他の項目は「やや満足」「普通」が多い。

○今後、利用したいサービスとしては、現在もサービス利用率の高い「⑱レスパイトサービス」「③移動介護」「⑥通所施設」「⑨生活の自立のための訓練」などのほか、現在の利用率は比較的低い「⑤ショートステイ」「⑦グループホーム」などの割合が高くなっている。

問 21. 知的障害 サービスの利用状況と満足度・今後の利用意向(総数=318)

現在の利用状況	利用している割合	満足度					知的障害者 今後の利用意向	
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満		
訪問	①身体介護(ホームヘルプサービス)	7.2	1.3	2.8	2.8	0.3	-	6.3
	②家事援助(ホームヘルプサービス)	1.9	0.6	-	0.9	-	0.3	6.6
	③移動介護(ホームヘルプサービス)	21.4	4.7	9.4	4.7	1.3	1.3	20.1
通所	④デイサービス	5.0	0.6	2.8	1.3	0.3	-	12.3
	⑤ショートステイ	8.2	1.9	1.9	2.8	1.3	0.3	19.5
	⑥通所施設(作業所等を含む)	34.0	15.1	9.1	6.6	1.6	1.6	19.2
居住	⑦グループホーム(生活ホーム、ふれあいホーム等を含む)	2.5	1.6	-	0.6	0.3	-	16.7
	⑧入所施設	5.7	1.9	1.6	1.3	0.6	0.3	6.9
活動	⑨生活の自立のための訓練(作業所等を含む)	16.7	3.5	6.3	5.0	1.3	0.6	16.0
	⑩職業技術を身につける訓練(作業所等を含む)	11.0	1.6	3.8	4.1	0.9	0.6	11.0
生活支援	⑪相談窓口・ケースワーカー	8.2	1.6	1.3	4.4	0.3	0.6	11.9
	⑫手話通訳者や要約筆記者の派遣サービス	1.6	0.3	0.3	0.6	-	0.3	0.3
	⑬日常生活用具の給付や貸し出し	2.8	-	0.9	0.6	0.9	0.3	3.8
	⑭補装具の交付・修理	8.5	0.9	2.2	3.1	1.6	0.6	5.3
	⑮自動車免許の取得等にかかる費用の助成	2.5	0.3	0.3	1.3	0.3	0.3	2.8
	⑯リフト付きワゴン車の貸出し	1.3	-	-	0.6	0.3	0.3	1.9
	⑰緊急通報システム	1.6	-	-	0.6	0.3	0.6	5.7
	⑱レスパイトサービス	23.6	6.3	9.4	6.0	1.3	0.6	23.0

※表中の網掛けは、評価のなかで最も割合の高い部分

③ 精神障害

○精神障害では、「⑪相談窓口・ケースワーカー」の利用率が最も高く、次いで、「⑥通所施設」「⑨生活の自立のための訓練」「②家事援助」「④デイサービス」が高い割合となっている。利用の満足度は「満足」から「普通」までが多い。

○今後、利用したいサービスとしては、「⑪相談窓口・ケースワーカー」が最も高く、「⑩職業技術を身につける訓練」が続いている。

問 21. 精神障害 サービスの利用状況と満足度・今後の利用意向(総数=265)

現在の利用状況	利用している割合	満足度					精神障害者 今後の利用意向	
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満		
訪問	①身体介護(ホームヘルプサービス)	1.9	1.5	-	0.4	-	-	1.5
	②家事援助(ホームヘルプサービス)	8.3	4.9	1.9	1.5	-	-	6.0
	③移動介護(ホームヘルプサービス)	1.9	0.8	-	0.8	0.4	-	1.1
通所	④デイサービス	7.5	3.0	1.9	1.1	0.4	1.1	6.0
	⑤ショートステイ	4.2	1.1	1.1	1.1	-	0.8	3.8
	⑥通所施設(作業所等を含む)	13.6	3.8	3.0	4.9	0.4	1.5	6.0
居住	⑦グループホーム(生活ホーム、ふれあいホーム等を含む)	3.4	1.5	-	0.8	0.4	0.8	4.2
	⑧入所施設	7.2	2.3	0.8	2.6	0.8	0.8	6.4
活動	⑨生活の自立のための訓練(作業所等を含む)	10.6	3.8	2.3	3.4	-	1.1	6.4
	⑩職業技術を身につける訓練(作業所等を含む)	7.5	2.3	1.5	2.6	-	1.1	8.3
生活支援	⑪相談窓口・ケースワーカー	20.8	6.4	4.2	4.9	2.6	2.6	14.0
	⑫手話通訳者や要約筆記者の派遣サービス	1.9	0.4	0.8	-	0.8	-	0.0
	⑬日常生活用具の給付や貸し出し	3.0	0.8	0.4	0.8	0.4	0.8	1.5
	⑭補装具の交付・修理	2.6	1.1	-	1.1	0.4	-	1.1
	⑮自動車免許の取得等にかかる費用の助成	1.5	0.4	-	0.4	-	0.8	2.3
	⑯リフト付きワゴン車の貸出し	0.8	0.4	-	0.4	-	-	1.1
	⑰緊急通報システム	1.9	0.4	0.4	0.8	0.4	-	3.0
	⑱レスパイトサービス	1.5	0.4	0.4	0.4	0.4	-	1.5

※表中の網掛けは、評価のなかで最も割合の高い部分

8 日中活動について

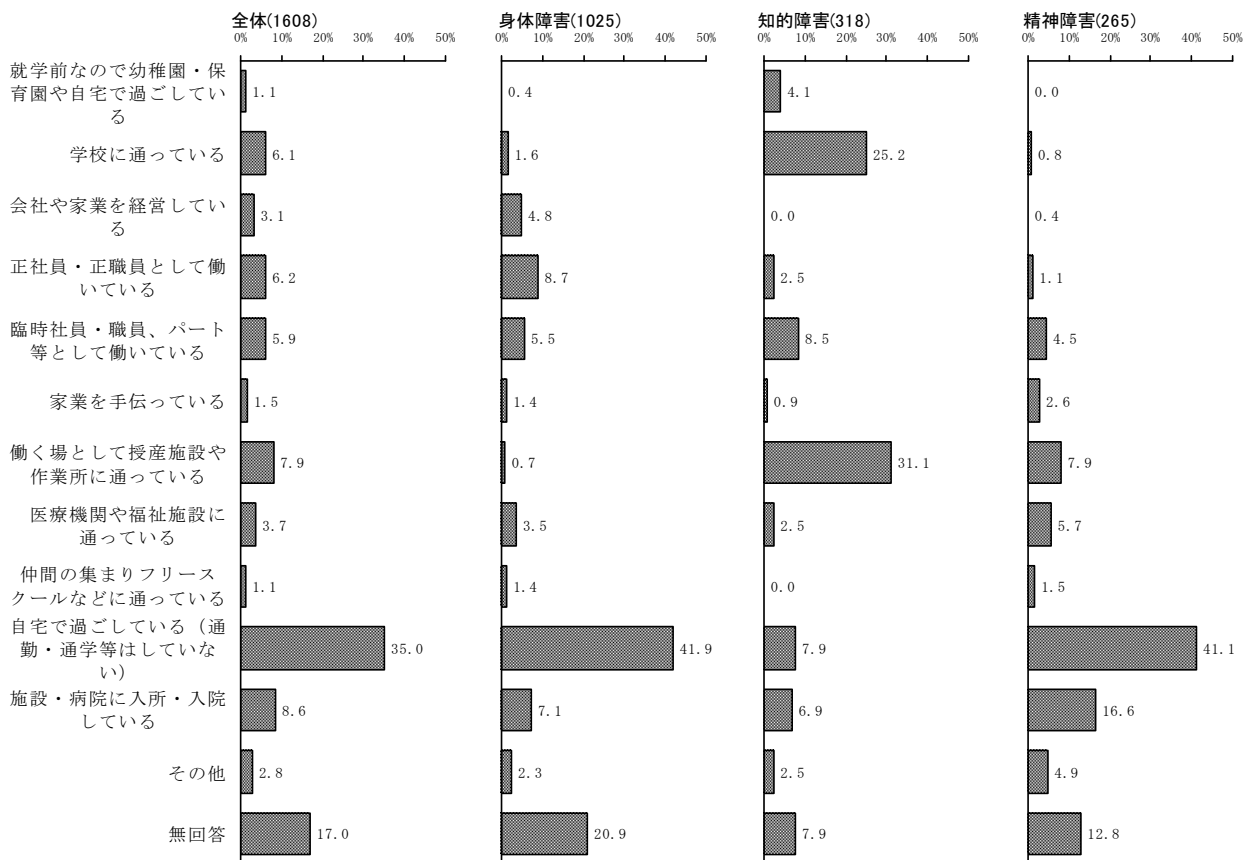
(1) 日中の過ごし方

○身体障害においては、「自宅で過ごしている」が4割以上で最も多い。働いている人は合わせて2割で、内訳は「正社員・正職員」(9%)、「臨時社員等」(6%)、「会社・家業の経営」(5%)、「家業の手伝い」(1.4%)、「働く場として授産施設・作業所に通っている」(1%)であり、授産施設・作業所での就労はわずかである。なお、身体障害は65歳以上の割合が高いことに留意する必要がある。

○知的障害では、「働く場として授産施設や作業所に通っている」(31%)、「臨時職員・職員、パート等として働いている」(9%)、「家業を手伝っている」(1%)をあわせて、働いている人の割合は4割以上を占め、次いで、「学校に通っている」(25%)が日中の活動内容として多い。「自宅で過ごしている(通勤・通学はしていない)」割合は身体障害(42%)、精神障害(41%)と30ポイント以上低い、8%である。

○精神障害では、「自宅で過ごしている(通勤・通学はしていない)」が4割強で最も多い。次いで、施設や病院に入所・入院または通所・通院している割合が2割強(「施設や病院に入所・入院している」(17%)と「医療機関や福祉施設に通っている」(5%)の計)となっている。働いている人の割合は17%で、高齢者を多く含む身体障害よりもその割合は低い。内訳は、「働く場として授産施設・作業所に通所」(8%)、「臨時社員等」(5%)「家業の手伝い」(3%)、「正社員・正職員」(1%)、「会社・家業の経営」(0.4%)となっている。

問 22. 日中の過ごし方 × 障害種類別



- 年齢別に見ると、身体障害においては、全体では自宅で過ごしているが多いが、年齢層で明確な違いがあり、19歳までの層では「学校に通っている」が大半を占め、20～59歳では働いている人（会社、家業の経営、正社員、臨時社員、家業手伝い、授産施設等の計）が半数程度以上である。60歳以上から働いている人の割合が顕著に低下する一方、自宅で過ごす割合が高まっている。
- 若い年齢層の多い知的障害においては、全体では働いているや通学している人の割合が高い傾向が見られたが、50歳以上からは、「自宅で過ごしている」と「施設・病院に入所・入院」でほぼ2分されるようになっている。
- 精神障害においては、全体的には自宅で過ごす割合が4割と高い傾向が見られたが、年齢別では、30～39歳で自宅で過ごす割合が54%と最も高い。以降、年代が高くなるにつれて自宅で過ごす割合は低下し、かわって入所・入院の割合が高まっており、30～39歳7%に対して、60～64歳で27%、65～74歳で32%となっている。

問 22. 身体障害 日中の過ごし方 × 年齢別

	全体 (0)	就学前 幼稚園・ 保育園や 自宅で 過ごす (1)	学校に 通って いる (2)	会社や 家業を 経営 している (3)	正社員・ 正職員と して働 いている (4)	臨時社員・ 職員、 パート等 として働 いている (5)	家業を手 伝って いる (6)	働く場 として授 産施設 や作業 所に 通って いる (7)	医療機 関や福 祉施設 に通っ ている (8)	リース クールの 集まり などに 通って いる (9)	自宅を 通って いる (通勤・ 通学等 はしてい ない) (10)	施設・ 病院に 入所・ 入院し ている (11)	その他 (12)	無回 答 (13)	
全体 (0)	1025 100.0	4 0.4	16 1.6	49 4.8	89 8.7	56 5.5	14 1.4	7 0.7	36 3.5	14 1.4	429 41.9	73 7.1	24 2.3	214 20.9	
年齢	0～5歳 (1)	6 100.0	66.7	-	-	-	-	-	-	-	2 33.3	-	-	-	
	6～11歳 (2)	5 100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	12～14歳 (3)	2 100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	15～17歳 (4)	1 100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	18～19歳 (5)	6 100.0	-	66.7	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-	
	20～29歳 (6)	21 100.0	-	9.5	4.8	57.1	-	-	4.8	-	-	19.0	-	-	4.8
	30～39歳 (7)	35 100.0	-	2.9	-	42.9	22.9	-	-	-	-	20.0	-	5.7	5.7
	40～49歳 (8)	54 100.0	-	1.9	3.7	31.5	7.4	3.7	5.6	3.7	-	24.1	3.7	3.7	11.1
	50～59歳 (9)	137 100.0	-	-	10.2	22.6	13.9	0.7	-	4.4	1.5	38.7	-	0.7	7.3
	60～64歳 (10)	130 100.0	-	-	6.2	5.4	12.3	2.3	1.5	3.1	0.8	38.5	8.5	3.1	18.5
	65～74歳 (11)	315 100.0	-	-	5.1	1.9	2.5	1.9	-	3.5	1.6	52.4	4.8	1.6	24.8
	75歳以上 (12)	296 100.0	-	-	2.0	0.3	0.3	0.3	-	4.1	2.0	43.6	14.5	3.0	29.7
	無回答 (13)	17 100.0	-	-	11.8	-	-	5.9	-	5.9	-	35.3	5.9	5.9	29.4

問 22. 知的障害 日中の過ごし方 × 年齢別

	全体 (0)	就学前 園・保育園 や自宅 で過 している (1)	学校に 通って いる (2)	会社や 家業を 経営 して いる (3)	正社員・ 正職員と して働 いている (4)	臨時社員・ 職員、 パート等 として働 いている (5)	家業を手 伝って いる (6)	働く場 として授 産施設 や作業 所に通 っている (7)	医療機 関や福 祉施設 に通っ ている (8)	仲間の 集まり フリース クール などに 通って いる (9)	自宅で 過して いる (通学・ 通学等 はして いない) (10)	施設・ 病院に 入所・ 入院し ている (11)	その他 (12)	無回 答 (13)	
															全体 (0)
全体 (0)	318 100.0	13 4.1	80 25.2	-	8 2.5	27 8.5	3 0.9	99 31.1	8 2.5	-	25 7.9	22 6.9	8 2.5	25 7.9	
年齢	0～5歳 (1)	15 100.0	11 73.3	1 6.7	-	-	-	-	1 6.7	-	1 6.7	-	-	1 6.7	
	6～11歳 (2)	43 100.0	1 2.3	41 95.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1 2.3	-	
	12～14歳 (3)	13 100.0	-	13 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	15～17歳 (4)	22 100.0	-	21 95.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 4.5	
	18～19歳 (5)	18 100.0	-	1 5.6	-	-	5 27.8	1 5.6	10 55.6	-	-	1 5.6	-	-	
	20～29歳 (6)	73 100.0	-	-	-	3 4.1	9 12.3	-	40 54.8	4 5.5	-	2 2.7	6 8.2	2 2.7	7 9.6
	30～39歳 (7)	71 100.0	1 1.4	1 1.4	-	4 5.6	8 11.3	-	33 46.5	2 2.8	-	8 11.3	4 5.6	3 4.2	7 9.9
	40～49歳 (8)	34 100.0	-	2 5.9	-	1 2.9	5 14.7	2 5.9	13 38.2	-	-	4 11.8	4 11.8	-	3 8.8
	50～59歳 (9)	13 100.0	-	-	-	-	-	-	1 7.7	-	-	4 30.8	4 30.8	2 15.4	2 15.4
	60～64歳 (10)	3 100.0	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3	-	-
	65～74歳 (11)	8 100.0	-	-	-	-	-	-	1 12.5	-	-	3 37.5	1 12.5	-	3 37.5
	75歳以上 (12)	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	無回答 (13)	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0

問 22. 精神障害 日中の過ごし方 × 年齢別

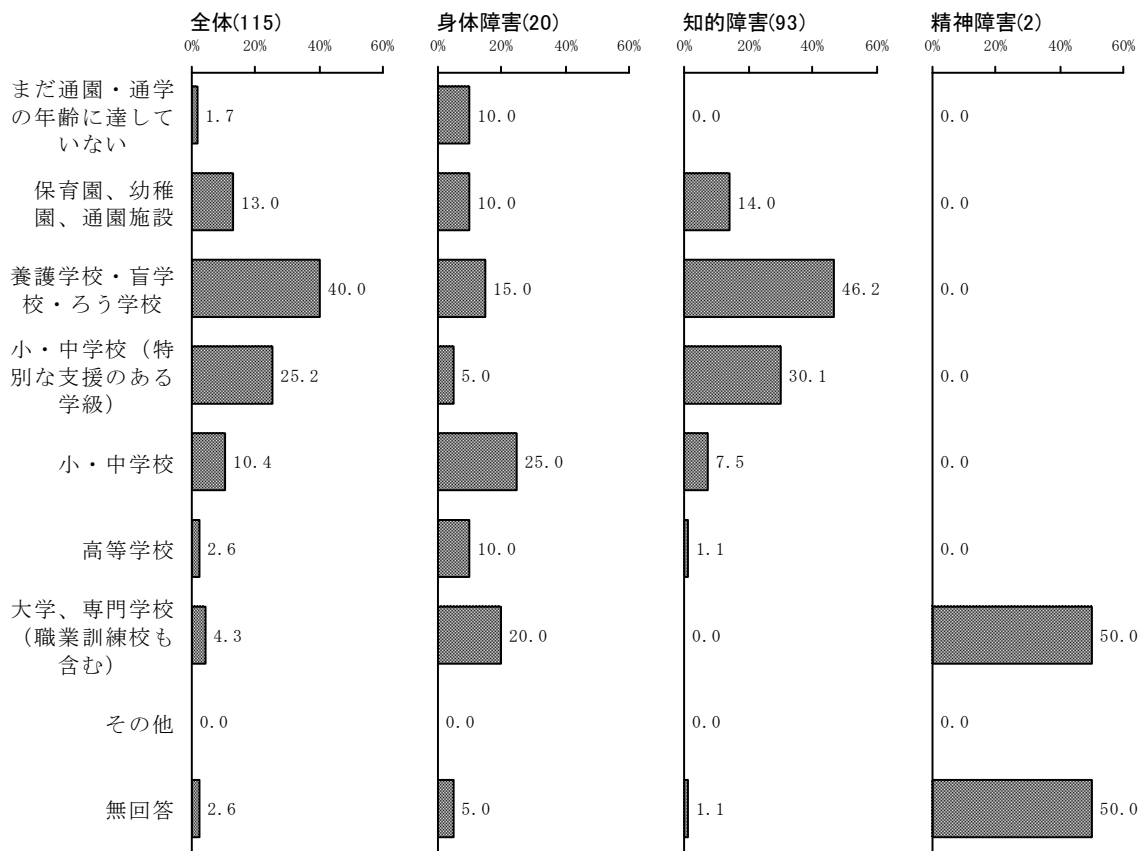
	全体 (0)	就学前 園・保育園 や自宅 で過 している (1)	学校に 通って いる (2)	会社や 家業を 経営 して いる (3)	正社員・ 正職員と して働 いている (4)	パート等 として働 いている (5)	家業を手 伝って いる (6)	働く場 として授 産施設 や作業 所に通 っている (7)	医療機 関や福 祉施設 に通っ ている (8)	仲間の 集まり フリース クール などに 通って いる (9)	自宅で 過して いる (通学・ 通学等 はして いない) (10)	施設・ 病院に 入所・ 入院し ている (11)	その他 (12)	無回 答 (13)	
															全体 (0)
全体 (0)	265 100.0	-	2 0.8	1 0.4	3 1.1	12 4.5	7 2.6	21 7.9	15 5.7	4 1.5	109 41.1	44 16.6	13 4.9	34 12.8	
年齢	0～5歳 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6～11歳 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	12～14歳 (3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	15～17歳 (4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	18～19歳 (5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳 (6)	19 100.0	-	1 5.3	-	-	-	1 5.3	3 15.8	2 10.5	-	9 47.4	2 10.5	-	1 5.3
	30～39歳 (7)	72 100.0	-	-	-	1 1.4	4 5.6	3 4.2	8 11.1	5 6.9	1 1.4	39 54.2	5 6.9	2 2.8	4 5.6
	40～49歳 (8)	55 100.0	-	-	1 1.8	-	6 10.9	1 1.8	6 10.9	1 1.8	1 1.8	25 45.5	4 7.3	3 5.5	7 12.7
	50～59歳 (9)	49 100.0	-	-	-	1 2.0	-	-	3 6.1	2 4.1	1 2.0	16 32.7	9 18.4	5 10.2	12 24.5
	60～64歳 (10)	26 100.0	-	1 3.8	-	-	1 3.8	1 3.8	1 3.8	3 11.5	1 3.8	9 34.6	7 26.9	1 3.8	1 3.8
	65～74歳 (11)	37 100.0	-	-	-	1 2.7	1 2.7	-	-	2 5.4	-	10 27.0	12 32.4	2 5.4	9 24.3
	75歳以上 (12)	6 100.0	-	-	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-	5 83.3	-	-
	無回答 (13)	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-

(2) 通園・通学先

① 通園・通学先

- 前設問で、「小学校就学前なので、幼稚園・保育所や自宅で過ごしている」「学校に通っている」と回答した人の通園・通学先については、身体障害の場合は、「小・中学校」「大学・専門学校」が多く、「養護学校・盲学校・ろう学校」が続く。
- 最も対象者の多い知的障害では、「養護学校・盲学校・ろう学校」が最も多く、小・中学校の特別支援学級に通う子どもも比較的多い。
- 精神障害は該当者が少ないため、傾向的なことはいえないが、「大学、専門学校」に通っている人がいる。

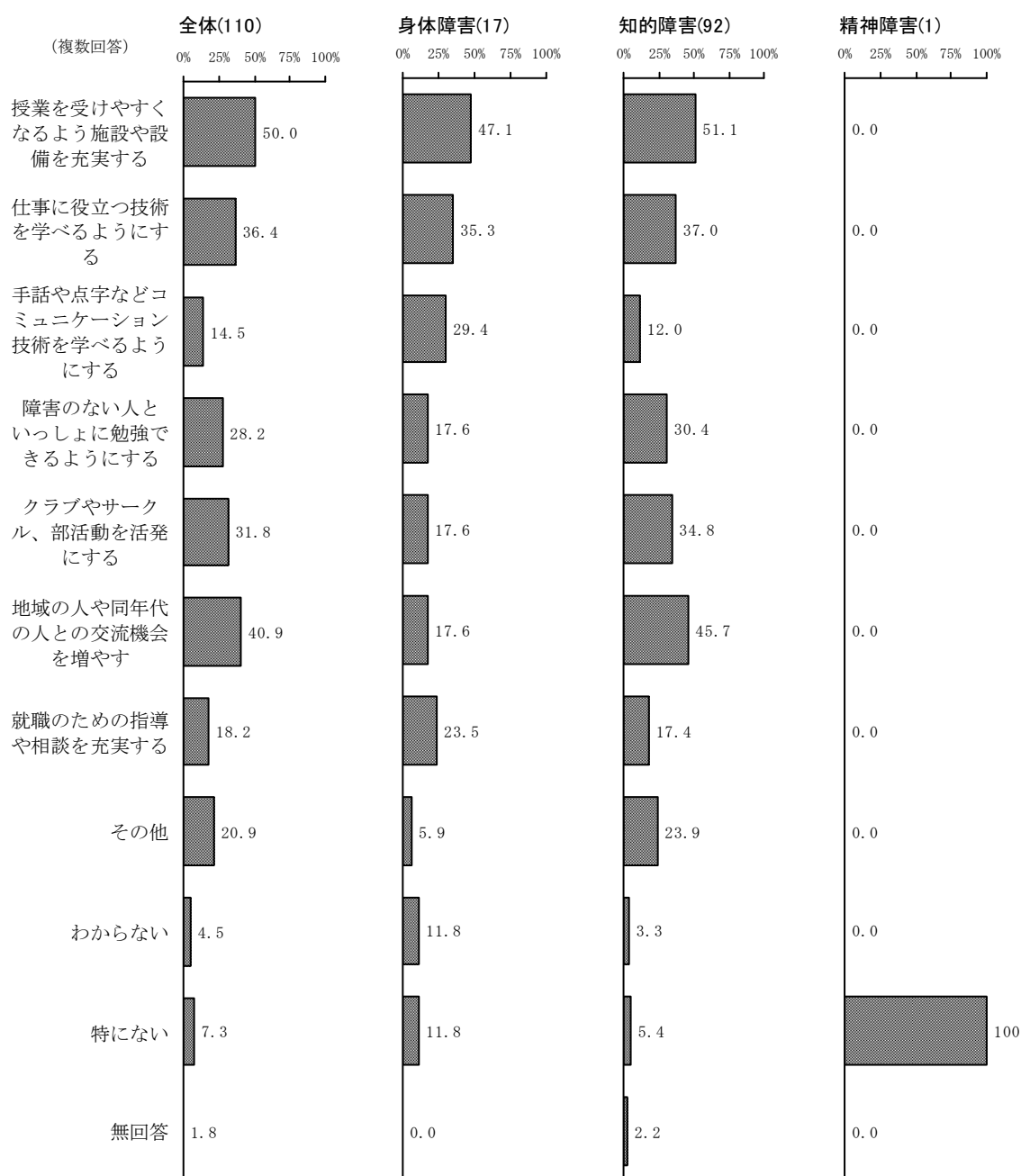
問 23. 通園・通学先 × 障害種別



② 通っている学校をもっとよくする方法

- 現在通っている学校などを、もっとよくするために必要なこととして、身体障害では、「授業を受けやすくなるよう施設や設備を充実する」が最も多く、「仕事に役立つ技術を学べるようにする」「手話や点字などコミュニケーション技術を学べるようにする」「就職のための指導や相談を充実する」などが続いている。
- 知的障害では、身体障害と同様に、「授業を受けやすくなるよう施設や設備を充実する」が最も多いが、これに次いで、「地域の人や同年代の人との交流機会を増やす」が多くなっている。このほか、「仕事に役立つ技術を学べるようにする」「クラブやサークル、部活動を活発にする」「いっしょに勉強できるようにする」などが続く。

付問 23-1. 通っている学校をもっとよくする方法 × 障害種類別

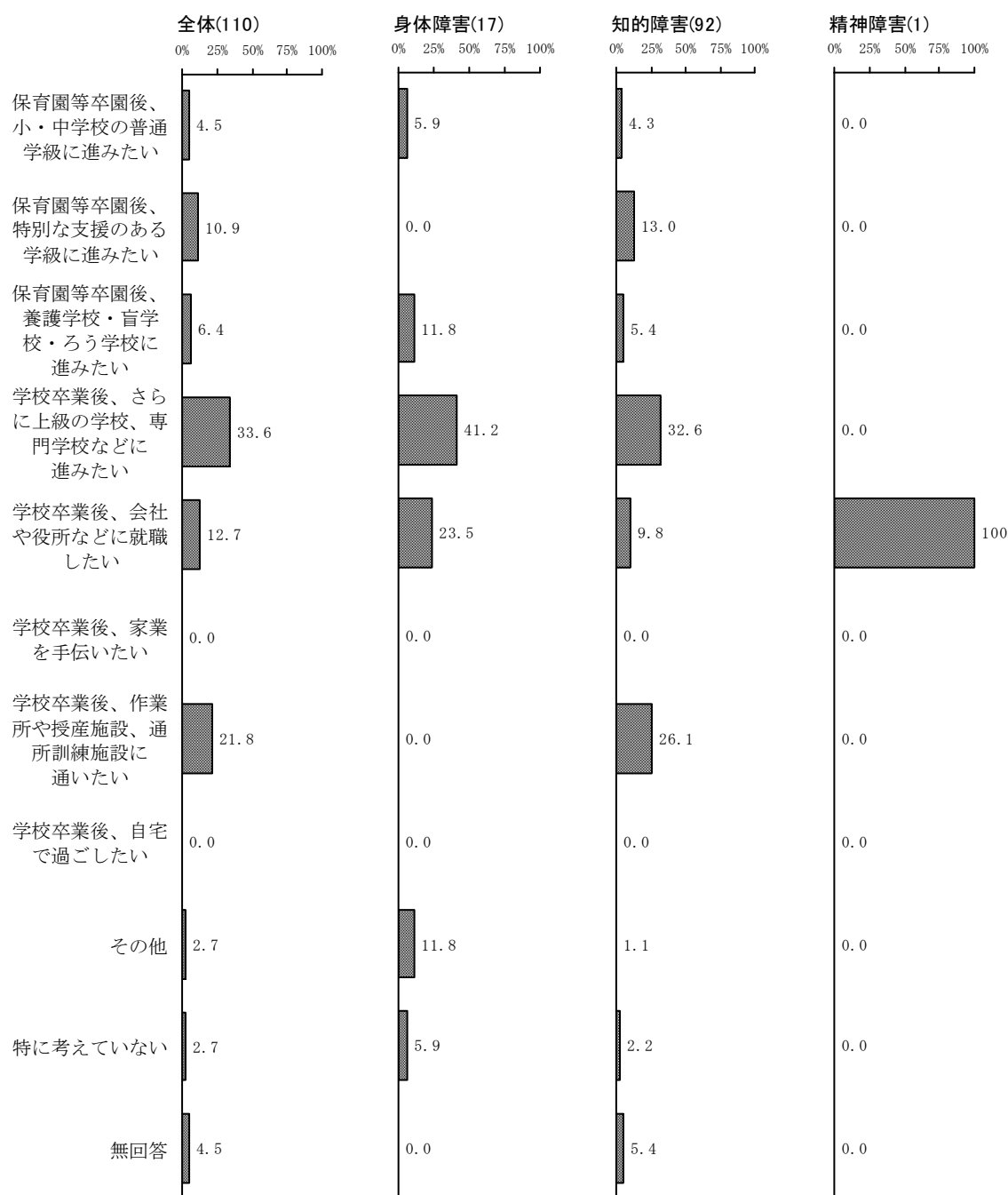


③ 5年後の進路希望

○通園・通学している人の5年後の進路の希望は、身体障害では、「さらに上級の学校、専門学校など」が最も多く、「就職したい」という希望も比較的多くみられる。

○知的障害についても、「さらに上級の学校、専門学校など」が最も多いが、卒業後は「作業所や授産施設、通所訓練施設に通いたい」が次いで多い。なお、知的障害においては69%が「本人の立場にたって家族や介助者が記入」していることに留意する必要がある。

付問 23-2. 5年後の進路希望 × 障害種類別



(3) 一般就労状況

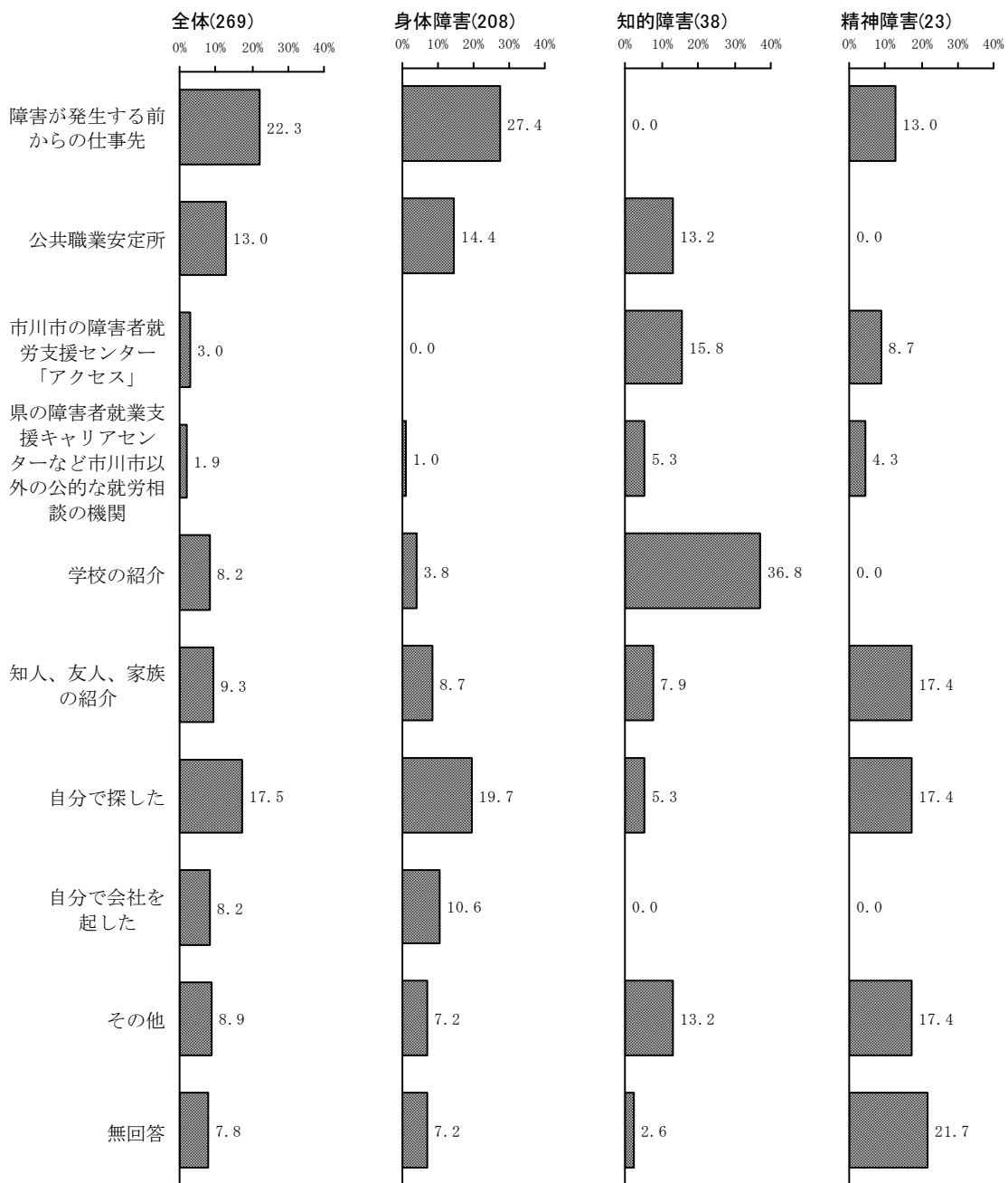
① 現在の仕事を発見した方法

○現在、仕事に就いている人が仕事を発見した方法については、身体障害では、障害が発生する前からの仕事である場合が最も多く、自分で探した人、公共職業安定所（ハローワーク）で見つけた人などが比較的多くみられる。

○知的障害については、学校の紹介が最も多く、学校（養護学校）が一般就労に大きな役割を果たしている。このほか、市の障害者就労支援センター「アクセス」、公共職業安定所を通じて見つけた人も比較的多い。

○精神障害については、自分で探したり、知人・友人・家族に紹介してもらったりしているほか、アクセスを通じて見つけた割合も 9%となっている。その他の公的な機関（公共職業安定所や県の機関）を通じて見つけた人は少数である。

問 24. ①現在の仕事を発見した方法 × 障害種類別



② 現在の仕事先は働きやすいように工夫をしていますか

○現在の仕事先が働きやすいように工夫をしてくれているかどうかについては、身体障害で15%、知的障害で24%、精神障害で4%であり、精神障害で他よりも低い割合となっている。

問 24. ②現在の仕事先は働きやすいように工夫をしていますか × 障害種類別

単位：%（5%未満非表示）

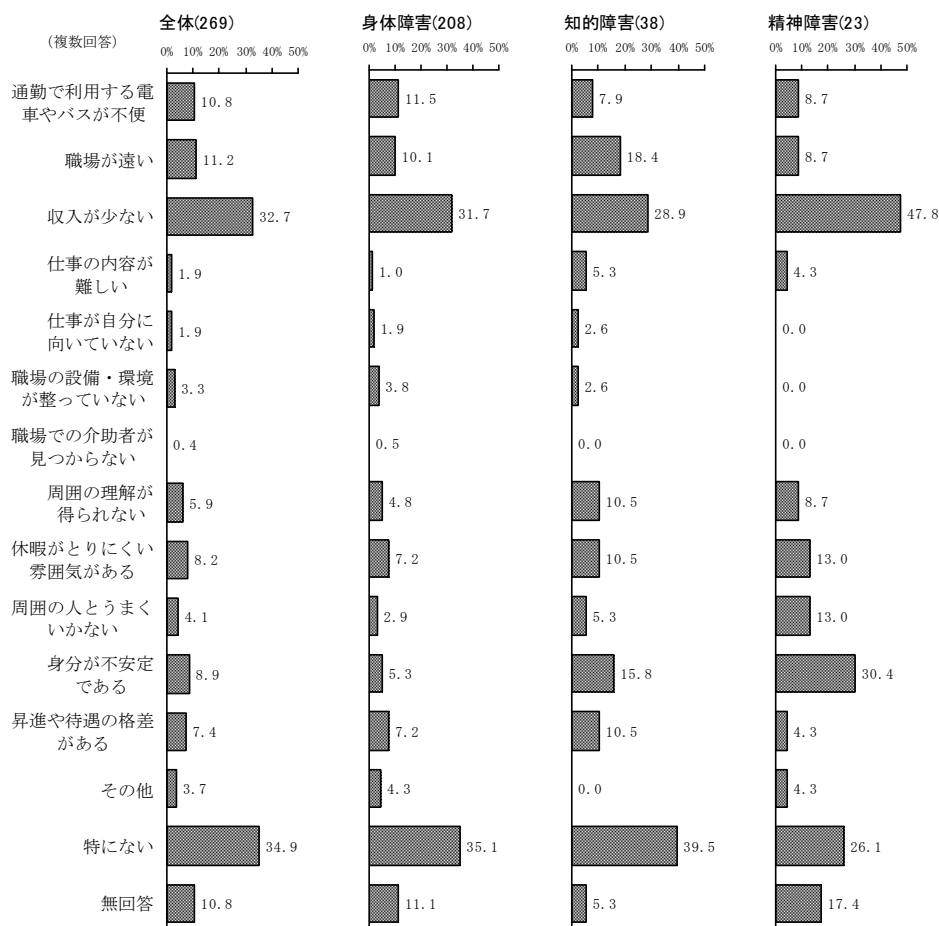
	工夫している	特に工夫していない	わからない	無回答
全体(269)	15.2	56.1	11.2	17.5
身体障害(208)	14.9	62.0	5.8	17.3
知的障害(38)	23.7	31.6	36.8	7.9
精神障害(23)		43.5	17.4	34.8

(注) 5%未満数値：精神障害(4.3)

③ 仕事や職場について困っていること、不安なこと

○仕事や職場で困っていることや不安なことについては、障害に関わらず、収入が少ないことがあげられている。身分が不安定（正社員ではない）という不安も、精神障害で30%、知的障害で16%と高くなっている。

問 24. ③仕事や職場について困っていること、不満なこと × 障害種類別



④ 現在の仕事先の満足度

○現在の仕事先・職場の満足度については、身体障害で約 51%、知的障害で約 76%、精神障害で約 30%の人が「満足」と答えており、知的障害での満足度がかなり高く、精神障害で低くなっている。

問 24. ④現在の仕事先の満足度 × 障害種類別

単位:% (5%未満非表示)

	満足している	満足していない	どちらともいえない	わからない	無回答
全体(269)	53.2		13.4	21.9	9.3
身体障害(208)	51.4		13.5	24.0	9.1
知的障害(38)	76.3			10.5	7.9
精神障害(23)	30.4	17.4	26.1		21.7

(注) 5%未満数値: 全体(2.2)身体障害(1.9)知的障害(2.6 2.6)精神障害(4.3)

(4) 今後の就職意志

① 今後の就職、転職の意向

○機会があれば働きたい、転職したいと思う割合を障害別に比較すると、高齢者を多く含む身体障害で 16%と最も低く、青壮年層を多く含む精神障害が 35%で最も高い。

問 25. 今後の就職、転職の意向 × 障害種類別

単位:% (5%未満非表示)

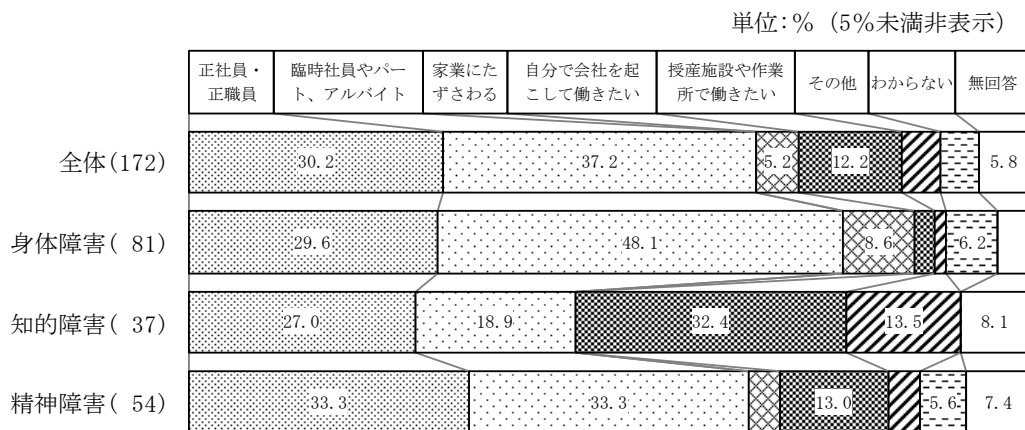
	思う	思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
全体(803)	21.4	38.0	8.7	6.1	25.8
身体障害(514)	15.8	45.3	6.8		29.0
知的障害(136)	27.2	27.2	14.0	11.0	20.6
精神障害(153)	35.3	22.9	10.5	11.8	19.6

(注) 5%未満数値: 身体障害(3.1)

② 働き方の希望

- 就職・転職したい人の働き方の希望は、身体障害で、「臨時社員やパート、アルバイト」が最も多く、約 48%を占め、「正社員・正職員」が約 30%となる。
- 知的障害では、「授産施設や作業所で働きたい」が約 32%で最も多く、「正社員・正職員」が 27%と続き、「臨時社員やパート、アルバイト」は約 19%にとどまる。
- 精神障害では、「正社員・正職員」「臨時社員やパート、アルバイト」がともに 3人に1人の割合で最も多くなっている。

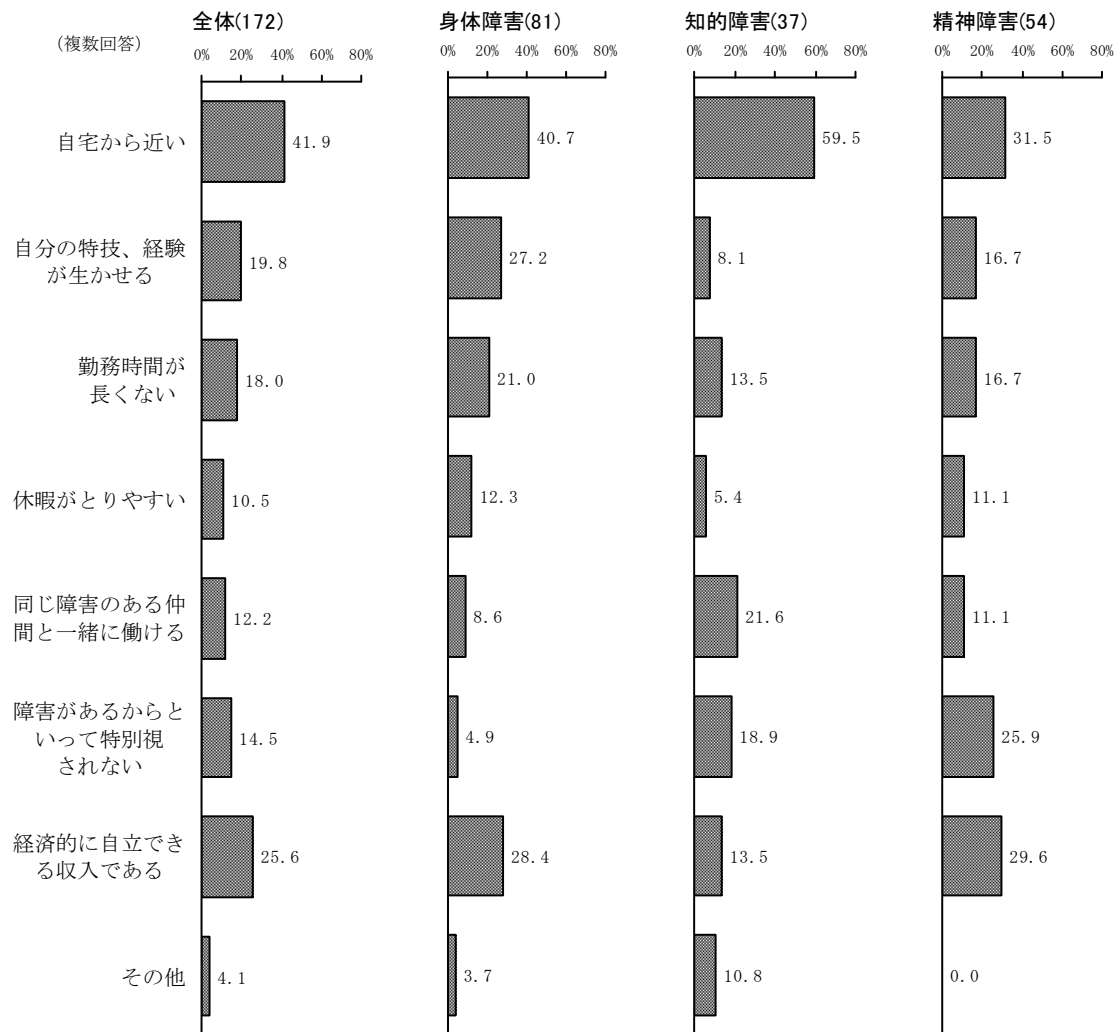
付問 25-1. 働き方の希望 × 障害種類別



③ 働く時に重視する条件

- 働きたい、転職したいと思う人が、働く時に重視する条件は、いずれの障害においても「自宅から近い」ことが高い割合となっている。
- 「経済的に自立できる収入」については、身体障害と精神障害で高い割合になっているが、知的障害では経済的自立よりも「同じ障害のある仲間と一緒に働ける」ことが重視されている。
- 「障害があるからといって特別視されない」の割合は、3 障害のなかで精神障害が 26% と最も高く、知的障害においても 19%となっている。

付問 25-2. (働きたい場合)働く時に重視する条件 × 障害種類別

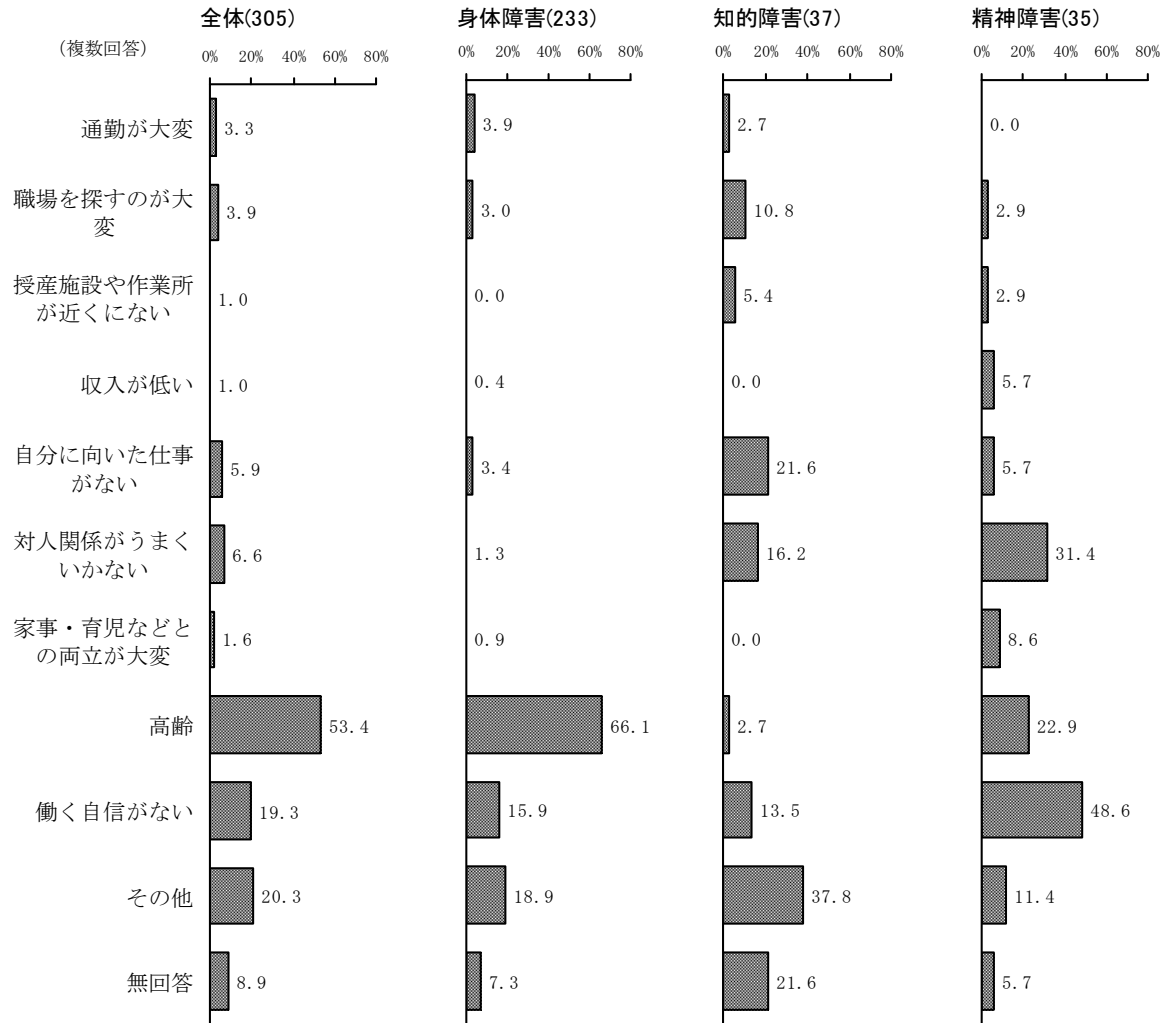


※特になし、わからない、無回答は略

④ 働きたいと思わない理由

○就職したいと思わない理由については、身体障害で「高齢」、知的障害で「自分に向けた仕事がない」、精神障害で「働く自信がない」「対人関係がうまくいかない」などが特徴的となっている。

付問 25-3. 働きたいと思わない理由 × 障害種類別



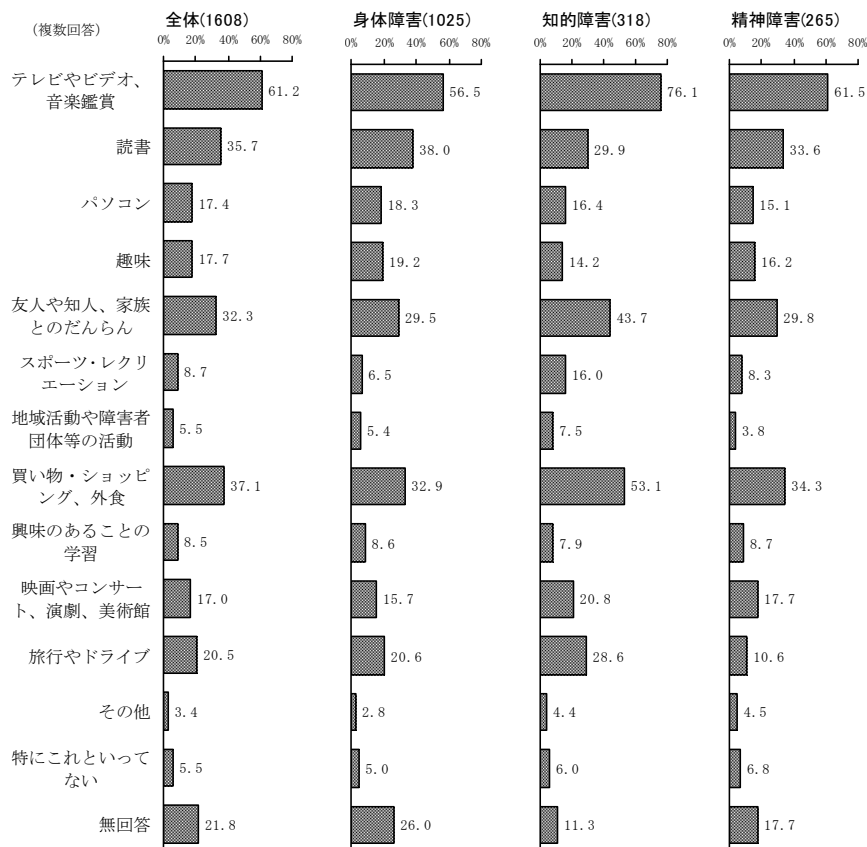
9 余暇活動、地域活動について

(1) 自由時間の過ごし方

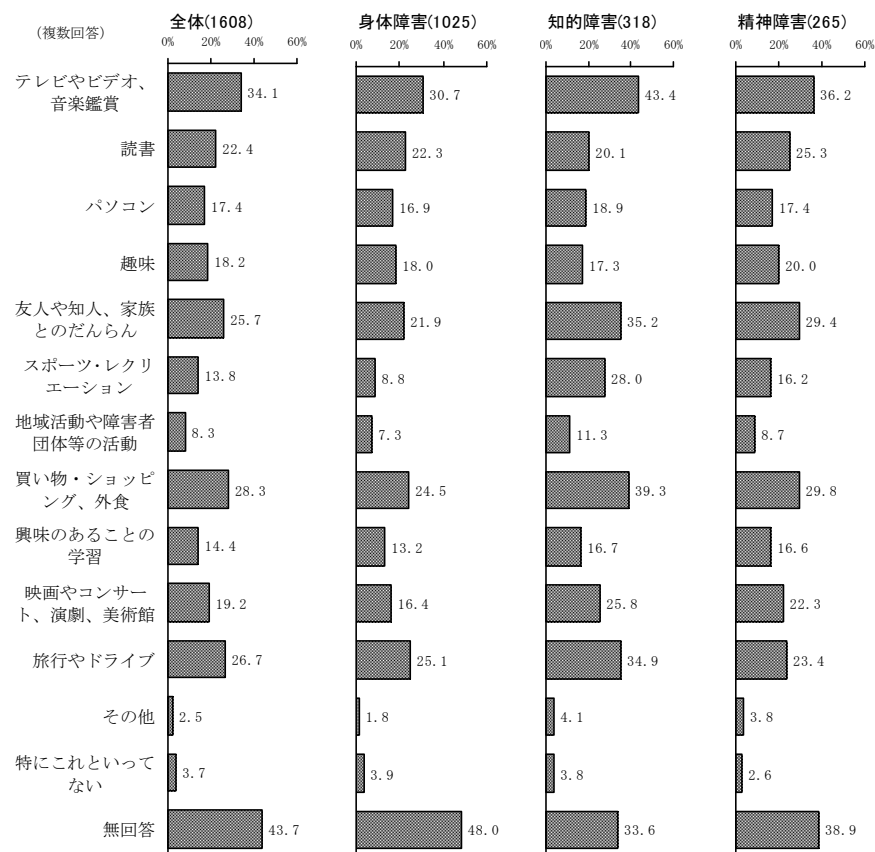
- 自由時間の現在の主な過ごし方は、総じて「テレビやビデオ、音楽鑑賞」「読書」「買い物・ショッピング、外食」「友人や知人、家族とのだんらん」などが多くなっている。
- 障害別には、大きな相違はないが、知的障害で、「買い物・ショッピング、外食」「友人や知人、家族とのだんらん」「旅行やドライブ」などがより多くなっている。
- 今後の希望についても、障害の違いに関わらず「テレビやビデオ、音楽鑑賞」「買い物・ショッピング、外食」「友人や知人、家族とのだんらん」「読書」など、現在の活動内容が上位を占めているが、「旅行やドライブ」「映画やコンサート、演劇、美術館」「趣味」などは、現在の活動率を上回る希望率となっている。

問 26. 自由時間の過ごし方 × 障害種別

現在やっていること



今後も続けたいこと、新しくやりたいこと



(2) 近所づきあい

- 近所づきあいの状況については、総じて「日常親しく付き合っている」という人は多くなく、「あいさつを交わす程度」が4割を超えて最も多くなっている。
- 障害別では、身体、知的、精神の順に「日常親しく付き合っている」という人が多くなっており、逆に「ほとんどつきあいはない」という人は精神、知的、身体の順に多くなっている。
- 今後についても、現状ほどの差はないものの、精神及び知的障害で近所付き合いに消極的な意向がうかがわれる。特に精神障害では「ほとんど付き合いはなくてよい」とする人が20%と、全体を10ポイント以上、上回っている。

問 27. ①現在の近所づきあい × 障害種類別

単位：%（5%未満非表示）

	日常親しく付き合っている	ときどき世間話をする	あいさつを交わす程度	ほとんど付き合いはない	無回答
全体(1608)	10.8	15.2	42.3	20.6	11.1
身体障害(1025)	13.7	18.8	41.9	14.0	11.7
知的障害(318)	7.9	9.4	44.0	29.6	9.1
精神障害(265)	8.3	41.9	35.8	10.9	

(注) 5%未満数値：精神障害(3.0)

問 27. ②今後の近所づきあい × 障害種類別

単位：%（5%未満非表示）

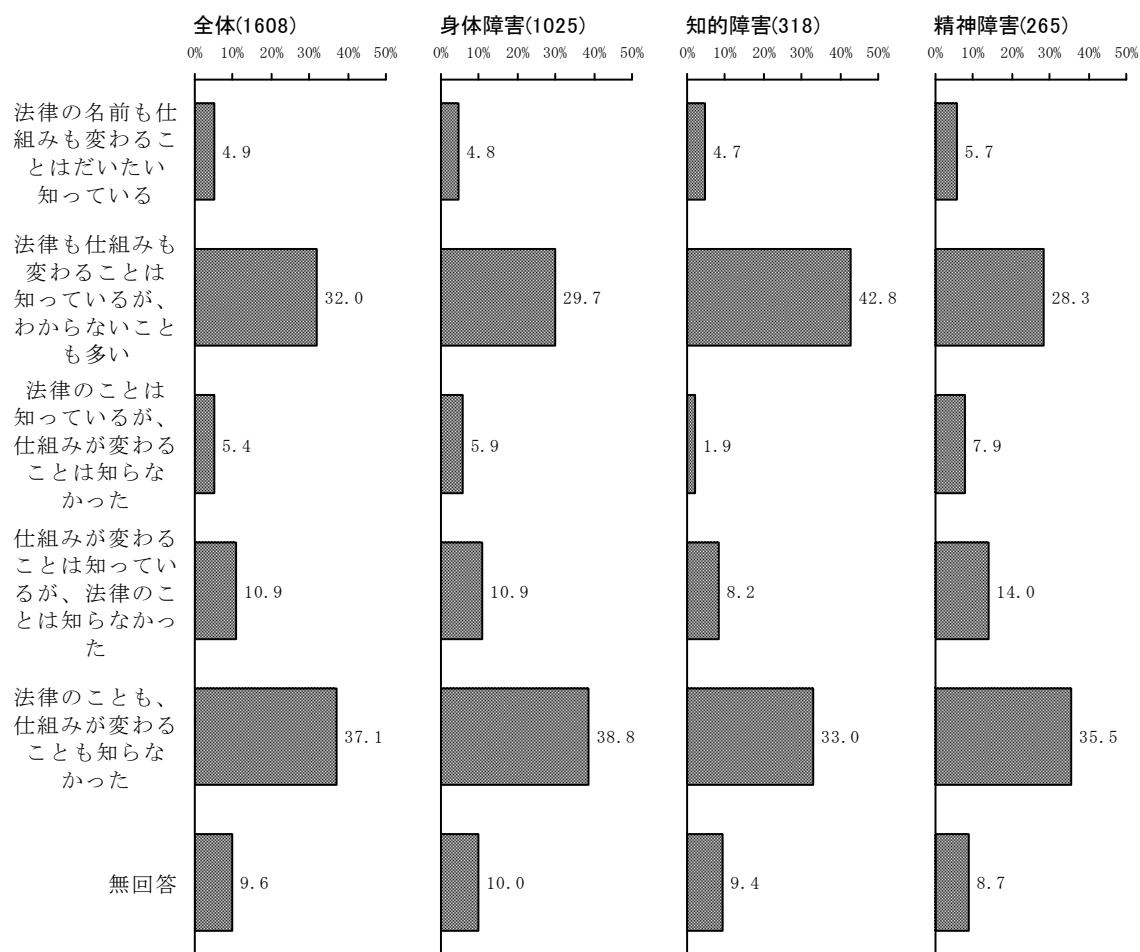
	日常親しく付き合いたい	ときどき世間話をするようにしたい	あいさつを交わす程度にしたい	ほとんど付き合いはなくてよい	無回答
全体(1608)	15.8	25.9	34.9	8.6	14.8
身体障害(1025)	17.6	29.8	31.0	5.4	16.3
知的障害(318)	14.8	21.1	41.8	9.7	12.6
精神障害(265)	10.2	17.0	41.5	19.6	11.7

10 これからの障害福祉について

(1) 「障害者自立支援法」という新しい法律について

- 「障害者自立支援法」については、4割近い人が「法律のことも、仕組みが変わることも知らなかった」としており、「法律も仕組みも変わることは知っているが、わからないことも多い」人が3割以上いることから、情報提供がさらに必要であるといえる。

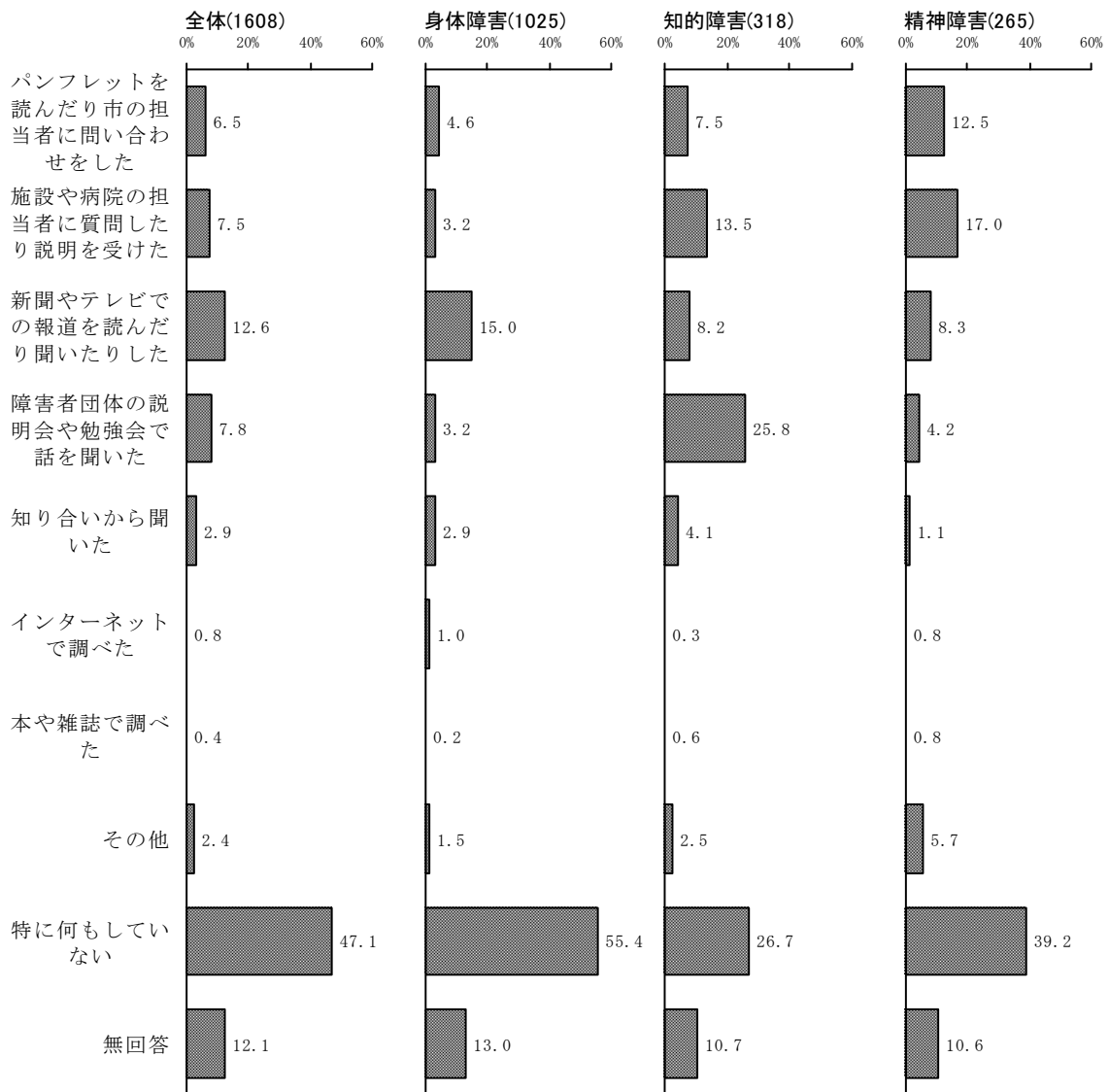
問 28. 「障害者自立支援法」という新しい法律について×障害種類別



(2) 制度の変化について

- 制度の変化に対する情報収集等については、「特に何もしていない」が圧倒的に多く、特に身体障害では半数以上の人がこのに該当する。
- 知的障害では、「障害者団体の説明会や勉強会で話を聞いた」という人が4人に1人の割合となっている点が特徴的である。なお、知的障害においては69%が「本人の立場にたって家族や介助者が記入」していることに留意する必要がある。

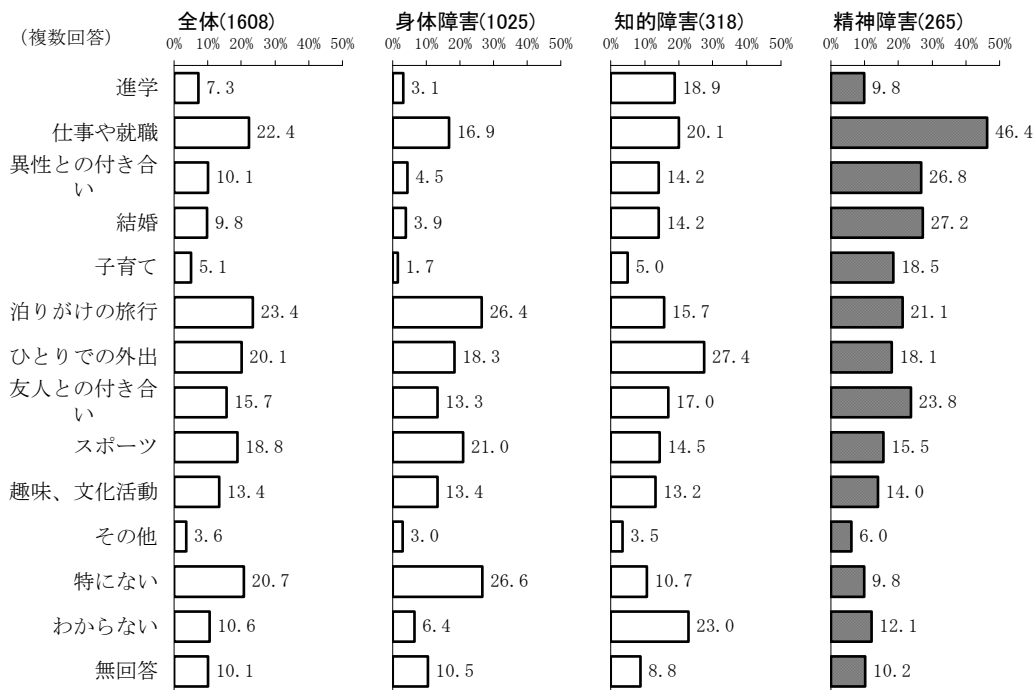
問 29. 制度の変化について×障害種類別



(3) 障害のため、あきらめたりがまんしたりしたこと

- 障害のためにあきらめたり、がまんしたことについては、障害別の相違がみられ、身体障害では、「泊まりがけの旅行」「スポーツ」「ひとりでの外出」「仕事や就職」などが比較的多いが、「特にない」という人も4人に1人の割合で見られる。
- 知的障害では、「ひとりでの外出」が最も多く、「仕事や就職」「進学」「友人との付き合い」「泊まりがけの旅行」などが比較的多い。
- 精神障害については、「仕事や就職」が約46%と多いほか、「結婚」「異性との付き合い」「友人との付き合い」など人との付き合いの面が多く、「泊まりがけの旅行」「子育て」「ひとりでの外出」「スポーツ」などにも制約を受けることが比較的多いといえる。

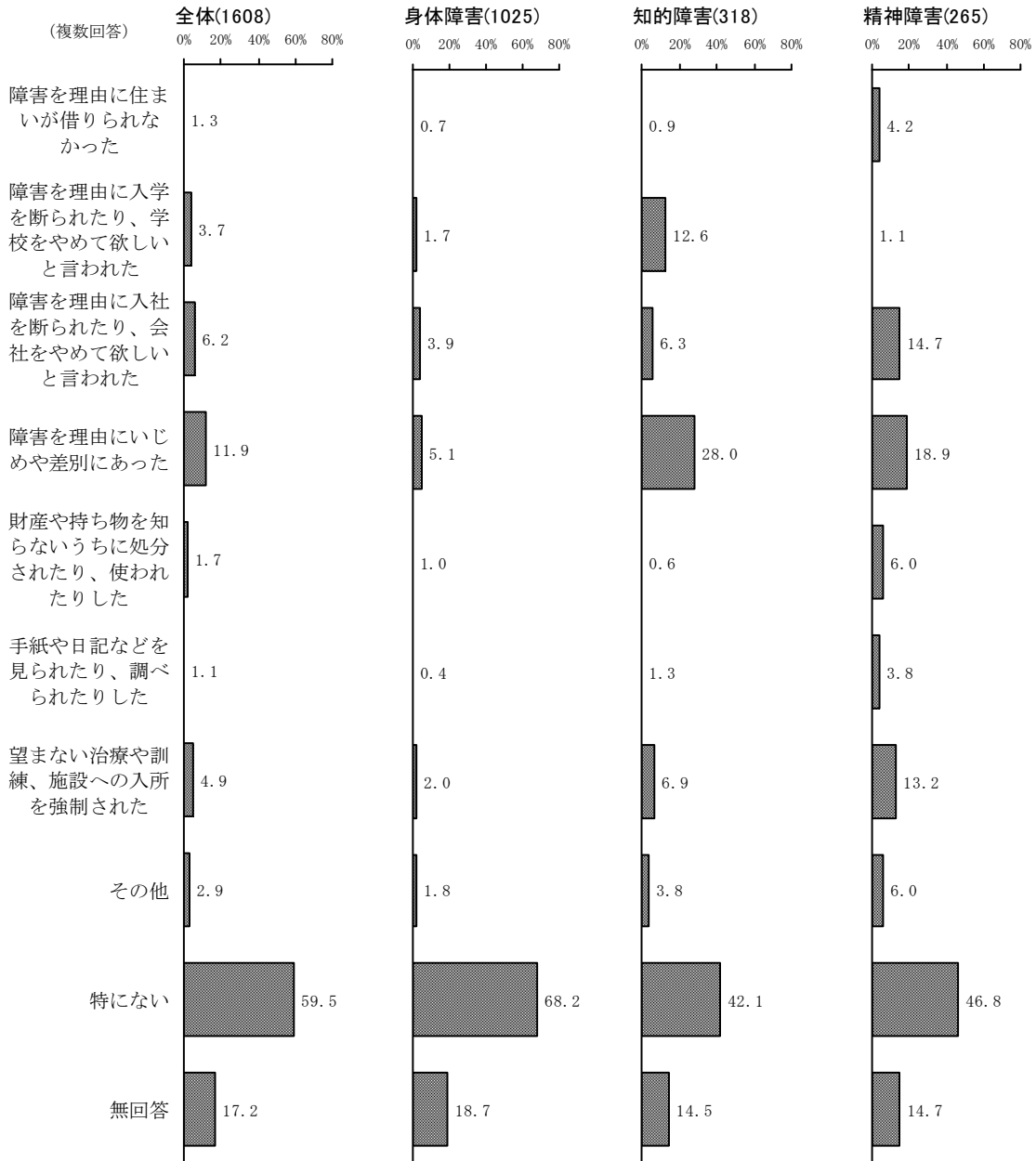
問 30. 障害のため、あきらめたりがまんしたりしたこと × 障害種類別



(4) 権利がうばわれたり、そこなわれたりした経験

○障害のために権利がうばわれたり、そこなわれたりした経験については、身体障害については、7割近い人が「特にない」としているが、知的障害では、「障害を理由にいじめや差別にあった」の割合が28%と多いほか、「障害を理由に入学を断られたり、学校をやめて欲しいと言われた」割合も13%となっている。精神障害については「いじめや差別」のほか、「入社を断られたり、会社をやめて欲しいと言われた」(15%)、「望まない治療や訓練、施設への入所を強制された」(13%)の割合が、他の障害よりも高くなっている。

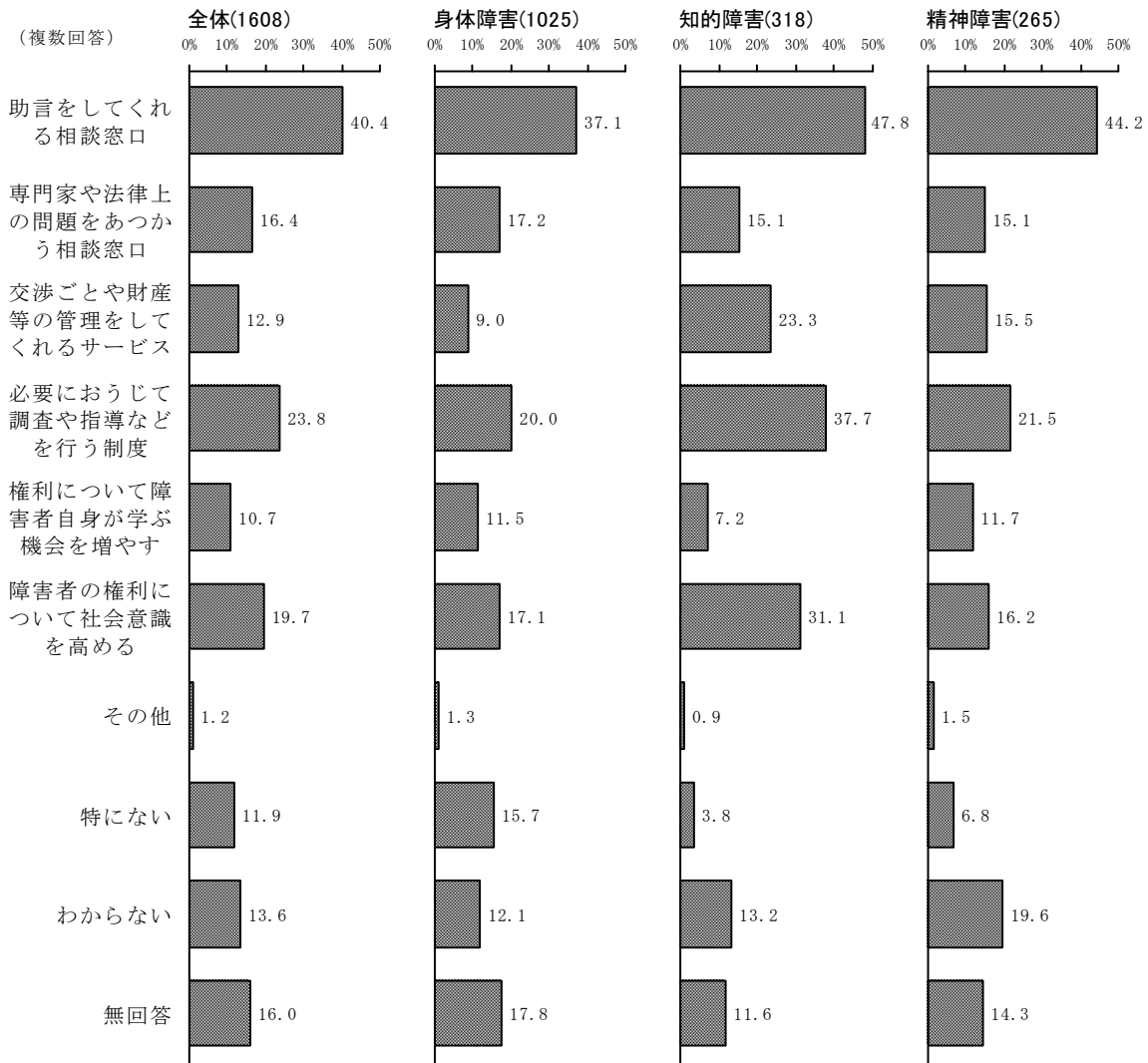
問 31. 権利がうばわれたり、そこなわれたりした経験 × 障害種類別



(5) 権利がうばわれたり、そこなわれたりしないために必要な手助けや取り組み

- 人権擁護のための手助けや取り組みについては、障害別の相違は少なく、総じて「助言をしてくれる相談窓口」が最も高く、「必要におうじて調査や指導などを行う制度」や「障害者の権利について社会意識を高める」ことなどが続いている。
- なお、権利擁護事業や成年後見制度につながる「交渉ごとや財産等の管理をしてくれるサービス」については、知的障害でより強く求められている。

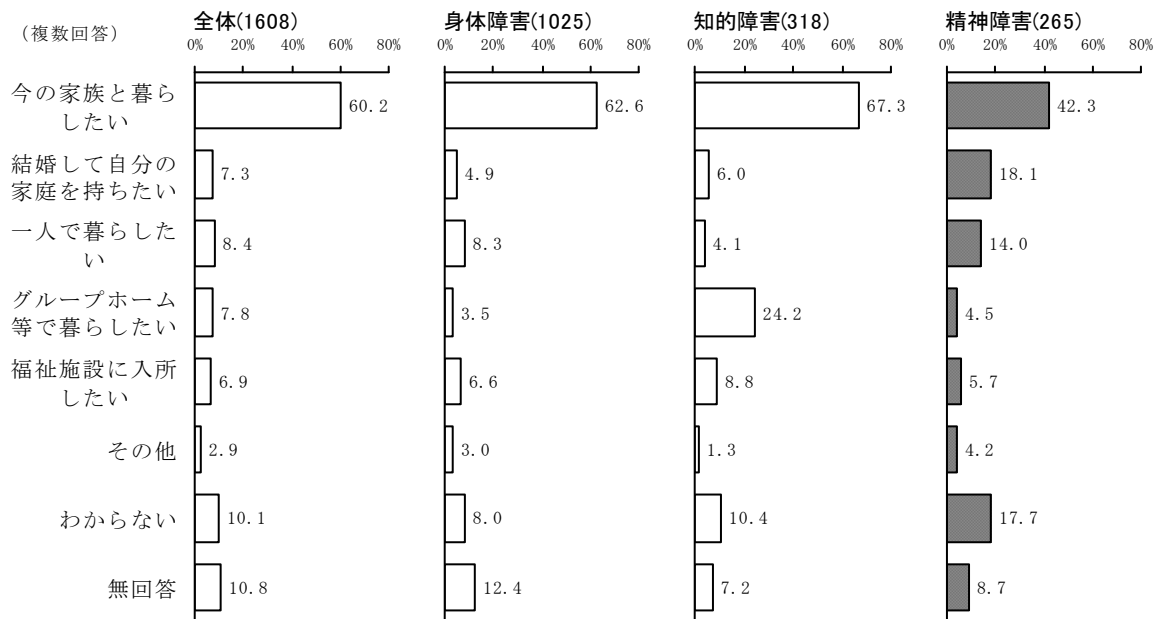
問32. 権利がうばわれたり、そこなわれたりしないために必要な手助けや取り組み × 障害種類別



(6) 今後の暮らし方

- 身体障害では「今の家族と暮らしたい」が約63%を占めており、そのほかは少数である。
- 知的障害では、身体障害と同様、「今の家族と暮らしたい」が高い割合を占めているが、「グループホームで暮らしたい」が約24%と3障害のなかで最も高くなっている。ただし、知的障害においては69%が「本人の立場にたって家族や介助者が記入」していることに留意する必要がある。
- 精神障害でも「今の家族と暮らしたい」が最も多いものの、約42%にとどまり、身体・知的障害よりも少なくなっている。一方、「結婚して自分の家庭を持ちたい」「一人で暮らしたい」など、独立した生活を希望する割合が他の障害よりも高くなっている。

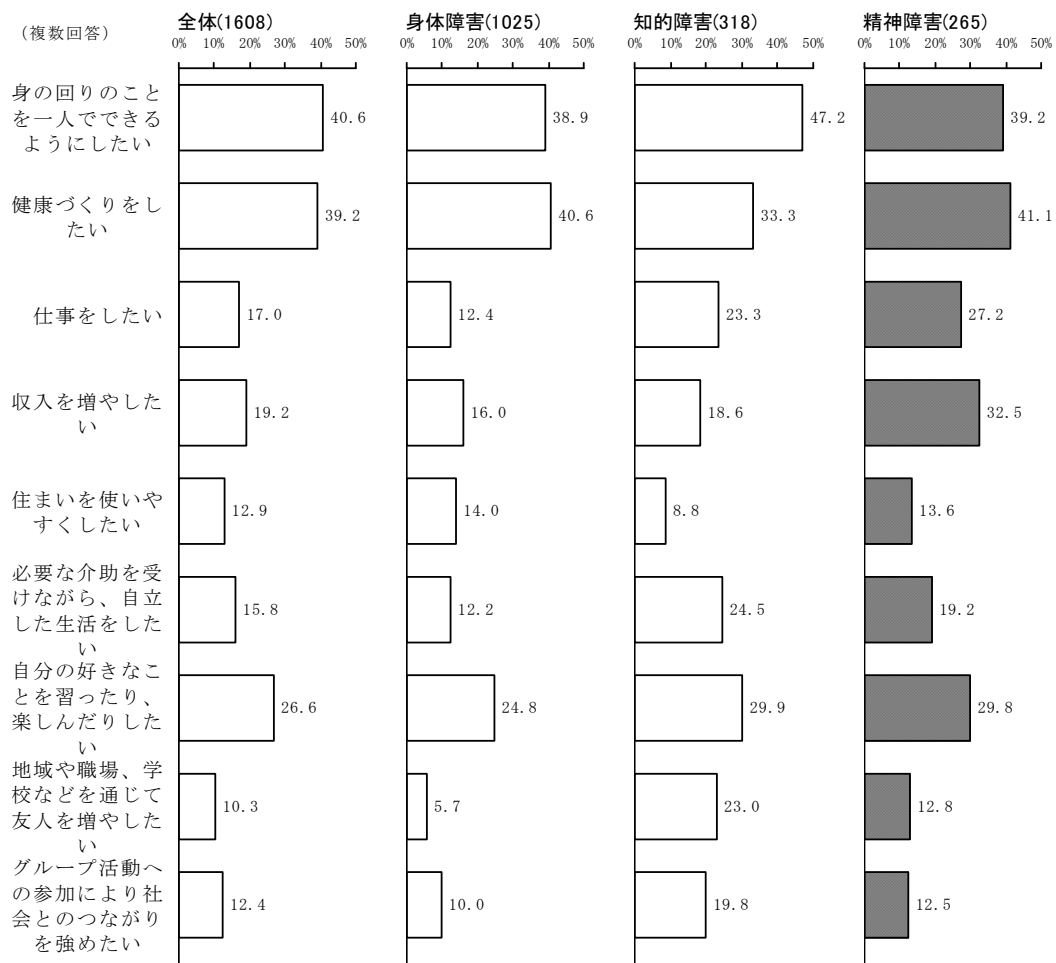
問 33. 今後の暮らし方 × 障害種類別



(7) 今後、取り組みたい活動

- いずれの障害においても、「身の回りのことを一人でできるようになりたい」「健康づくりをしたい」、「自分の好きなことを習ったり、楽しんだりしたい」の3項目が高い割合を占め、上位に挙げられている。生活面で自立し、健康で生きがいのある生活を送りたいという意向がうかがわれる。
- 知的障害では、これらのほかに「仕事をしたい」「必要な介助を受けながら、自立した生活を送りたい」など自立に関連する項目の割合や、「友人を増やしたい」「社会とのつながりを強めたい」など、交流や社会参加に関連する項目の割合が高くなっている。
- 精神障害では「仕事をしたい」「収入を増やしたい」の割合が他の障害よりも高く、経済的な自立度を高めたいという意向が強いことがうかがわれる。

問 34. 今後、取り組みたい活動 × 障害種別



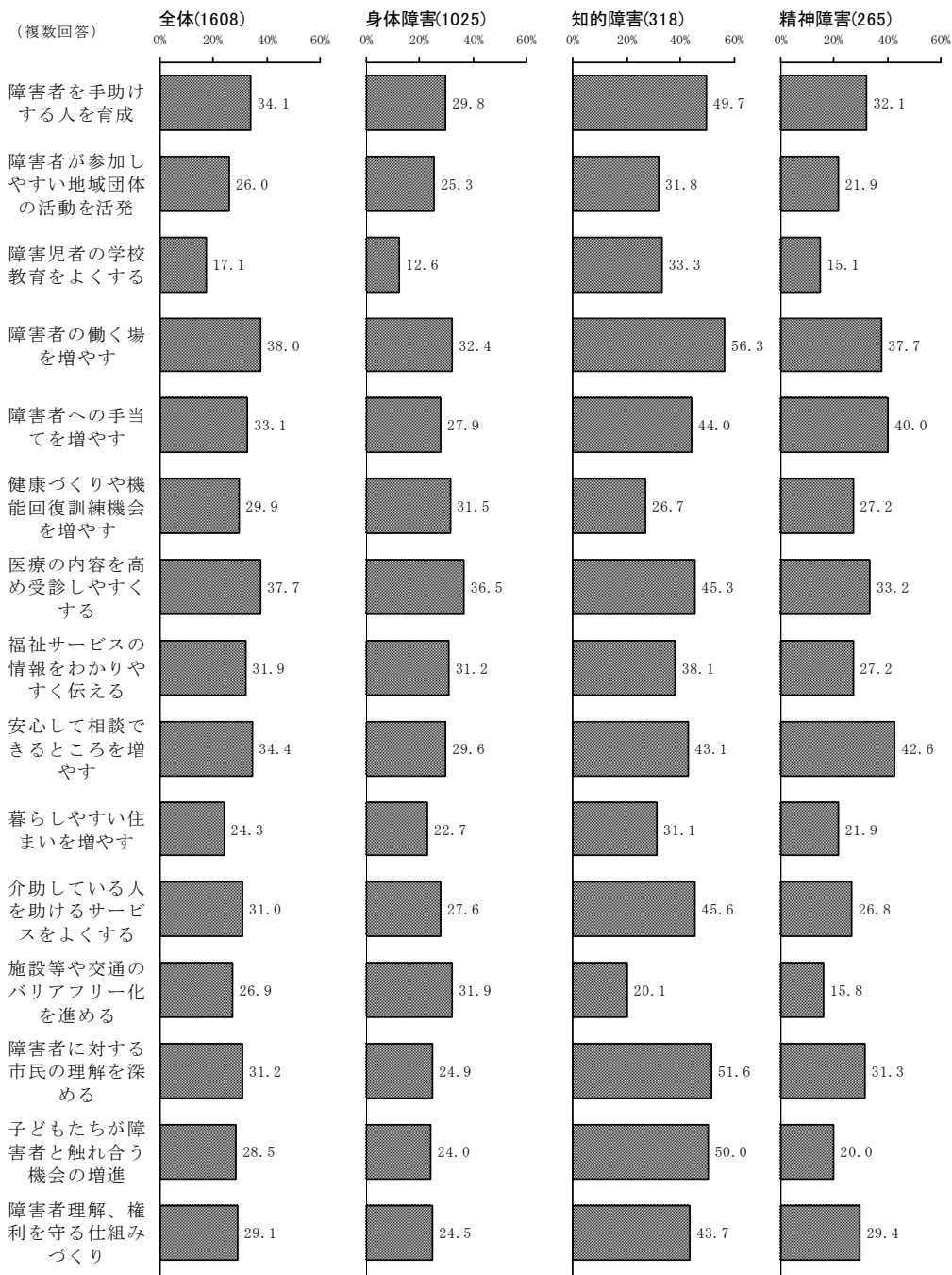
※その他、わからない、無回答は略

(8) ノーマライゼーションの実現のために必要なこと

○ノーマライゼーションの実現のために必要なこととして示した下図 15 項目（その他、わからないを除く）のうち、全体で最も割合の高いのは「障害者の働く場を増やす」である。ただし、最も割合の低い「障害児者の学校教育をよくする」でも約 17%を占めており、全ての項目の必要性が高いといえる。

○全体での上位には、「障害者の働く場を増やす」のほか、「医療内容を高め受診しやすくする」「相談できるところを増やす」「手助けする人材を育成する」「障害者への手当てを増やす」などが挙げられている。

問 35. ノーマライゼーションの実現のために必要なこと × 障害種類別



※その他、わからない、無回答は略

- 身体障害の回答傾向は全体とほぼ同様である。
- 知的障害では、「働く場を増やす」が最も多く、「市民の理解を深める」「子どもたちが障害者について学んだり触れ合う」などで50%を超えており、理解と交流が重要とする意識が強く表れている。
- 精神障害では、「相談できる場所を増やす」が最も多く、次いで「障害者への手当を増やす」「障害者の働く場を増やす」「医療内容を高め受診しやすくする」「手助けする人材を育成する」が続いている。